

令和6年7月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和6年7月30日（火）午前10時00分～午後4時50分

2 場 所 604会議室

3 出席者 [教育長] 中島秀行

[委 員] 宮本陽子(教育長職務代理者)、寺本彰、森田理恵、北野大

[事務局] ◇千葉裕之教育総務部長、◎中田利明学校教育部長、◇池田淳教育総務部次長、◎櫻井誠学校教育部次長、◎吉川誠学校教育担当参事兼学校教育課長兼健やか輝き支援室長、◎中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、◎鈴木健教育総務課長、北村史恵教育総務課主幹兼教育企画室長、市村浩昭教育施設課長、奥井祥三社会教育課長、三上佳明スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、川島一禎文化財保護課主幹、橋本浩志所沢図書館長、◇田中淳学校教育課主幹、◎刈谷和哉学校教育課主幹、◇渡辺純也保健給食課長、△北嶋一済学校教育課指導主事、△長谷川義博学校教育課指導主事、△岩井大地学校教育課指導主事

[書 記] ◎小城原光貴教育総務課副主幹、□藤倉彩加教育総務課主事

※◎印の職員は、全ての審議に出席。

△印の職員は、議案第11号の審議のみ出席。

◇印の職員は、議案第11号の審議の際は退室。

□印の職員は、午前中のみ出席。

無印の職員は、報告事項終了後に退室。

[その他] 結城尊弘小手指中学校長、吉川英一向陽中学校長、原雅一

牛沼小学校長、徳増由美子小手指小学校長、山元丈司安松

中学校長、相川史生富岡中学校長、諸範弘山口中学校長

※所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会委員として、議案第11号の議案説明のため出席。

小山義昭上山口中学校長、三上陽照北野小学校教頭、加藤

邦彦北野中学校長、白濱史朗中央中学校教頭、大久保充浩

向陽中学校教頭、大舘直美伸栄小学校長、内田浩太椿峰小

学校教頭、綿貫功山口中学校教頭、岩田健太郎所沢中学校教頭、奥野木直敏狭山ヶ丘中学校教頭、坪井健東中学校長、鈴木進也並木小学校教頭

※所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会教科用図書調査専門員として、議案第11号途中より出席。

#### 4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 25名

6 開 会 北野委員は議案第11号途中から出席。

本日の議題は、追加議案を含め議案第11号から第13号の3件。また、協議事項が1件。

なお、議案第12号については予算に関する審議のため、議案第13号については所沢市議会第3回定例会提出予定議案のため「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

また、教育委員会会議規則第19条第2項に基づき、藤倉彩加教育総務課主事が新たに書記として指名された。

#### 7 協議事項

○令和6年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書について

資料に則り、北村教育総務課主幹兼教育企画室長から、以下のとおり説明があった。

点検評価報告書の基本的な構成については、昨年度と同様だが、令和5年度所沢市教育行政推進施策に基づき、今年度は最重点施策の項目がない。

点検評価報告書については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第26条に基づき、教育行政の推進を図るとともに、事業の透明性の確保や市民への説明責任を果たすために、平成20年度から毎年行っているものである。

この法律第26条の第1項では「教育委員会は、毎年、事務の執行状況等について点検と評価を行い、その結果の報告書を作成し、議会に提出し、公表しなければ

ならない」と規定されている。

また第2項ではこの点検評価を行う上で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとするとして規定されていることから、3名の評価委員を選出し、2ページに記載のとおり、昨年度と同様に、秋草学園短期大学准教授伊澤永修様、元所沢市立中学校長内野正行様、所沢市社会教育委員小沢貞泰様にお越し、ご意見と評価をいただき、本報告書を作成している。

3ページから5ページまでにおいて、「第2次所沢市教育振興基本計画」に掲げた46個の主要施策の体系図を掲載している。

6ページから11ページには、教育委員会で作成した点検評価に対し、学識経験者3名からいただいたご意見と評価を記載している。

12ページから68ページまでは、点検評価表として主要施策ごとの重点事業及び主要事業の令和5年度の実施状況について、「目標」と「施策の内容と今後の方向」を記載し、また、各施策の主な事業の「実施状況」と担当課で行った「自己評価」を記載している。

69ページから74ページまでは、基本目標ごとの指標の達成状況の推移を、

75ページから78ページまでは資料として、教育委員会の活動状況、令和5年度の予算・決算を記載している。

最後に、79ページはむすびとして、令和5年度の点検評価の結果をまとめている。

今後の流れだが、本日の協議結果等を踏まえて8月の定例教育委員会において審議をお願いし、ご議決いただいたら、市議会に提出し、ホームページで市民に公表する。

なお、個々の事業の内容については、各所管から答える。

以下、質疑。

(宮本委員)

7ページの学識経験者から各施策に対する評価についての1-3-(2)「学校給食・食育の充実」で残食の増減について書かれています。「無償で給食が提供されるので雑に扱わないか心配である」と懸念されていますが、現状を知らないで目にしたときに、今の給食の現場がどうなのかが気になる文章でしたので「心配である」という表現の方法を考えていただければと思います。「心配である」

という根拠になるものが70ページの基本目標3「心身ともにたくましく生き抜く力を伸ばします」の指標の一覧で、前年度実績値、最新値などが記載されています。給食の残食率の欄では「小中学校全体の残食率」となっていますが、小学校と中学校に分けて書くことはできないのかと感じました。まずは、小学校と中学校を一括にしている理由を教えてくださいたいです。次に、残食が減るのか、増えるのかどのように検討されているのか伺います。

(渡辺保健給食課長)

残食率につきましては、給食センター校、単独調理校がありますので、すべてを一括してパーセンテージを出しております。令和6年所沢市議会第2回定例会におきましても一般質問としてありました。給食の1日というビデオを作り食育の時間に流すよう作成していますが、令和3年のものであるため、新しく作るかどうか、内容を含めて食育に還元していきたいと考えているところです。

また、各栄養士、栄養教諭が食育、残食率につきまして気を使って見ているので、部会等でも減らしていくための工夫をしているところです。具体例としてはメニューを工夫しています。給食センターにおきましては多くの量を作成する関係上、目新しいものはなかなかできませんが、子どもたちから人気のあるメニュー等を月に1回入れ、食材費の高騰を計算しながら工夫しているところです。保健給食課としましては、残食率は目標値に達していますが、学校ごとにばらつきがありますので削減していけるように考えているところです。

(宮本委員)

3ページの施策体系図の1-1-(6)「幼児教育の推進」で「-その他の事業-所沢第二幼稚園運営事業」が位置付けられています。19ページを見ますと、事業としては書かれていません。「施策の内容と今後の方向」に「令和7年3月31日をもって廃止となることが決まりました。」と書かれているのですが、令和5年度、6年度は運営しているので、書かれたほうがいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

(吉川学校教育担当参事)

今年度も運営はしていますので検討させていただきます。

(寺本委員)

24ページの基本方針1-基本目標2-主要施策(5)「生徒指導の充実」の

「施策の内容と今後の方向性」について伺います。目立たない児童生徒に括弧を付け、目につくようにしているのはよいことだと思いますが、この文脈だと「声なき声に耳を傾け、微かなサインに目を配るよう」という表現で、目立たない児童生徒の不安定さや危うさに焦点がいつているように感じます。目立たない児童生徒が自己肯定感、学校でのやりがいを一人でも多く持てる、そのような方向性を示してほしいです。目立たない児童生徒は危ない存在だから気を付けていないといけない、相談活動をしなればいけないだけでなく、行事で活躍をしてもらうことや発言をしやすい授業の場面を作るなど、プラスの方向でこの子どもたちをとらえた表現にならないかと思うので、検討していただきたいです。

(吉川学校教育担当参事)

今いただいた意見を踏まえて、表現を検討していきたいと思います。

(中島教育長)

これははじめに関して書いているため、どうしてもはじめに特化したものになっていますが、「生徒指導の充実」という施策なのでプラスの部分で子どもを評価する、積極的な生徒指導の観点を追加したほうが良いのではないかと思います。

(森田委員)

先日「トコロんのびのび塾」の見学に行かせていただきました。点検評価報告書にも新規事業として書いてあると思いますが、たくさん子どもたちに加え、ボランティアの方も多く参加していただいて、楽しそうに一生懸命取り組んでいる姿を見ることができました。たくさん子どもたちが参加することによって学力向上につながっていくと良いと感じました。他にも行事やシティマラソンなど、コロナ禍が明けたことで参加人数が増加した事業が多かったです。参加人数が増えることは良いことだと思いますし、内容も充実したものになっていくと良いと思います。

(中島教育長)

「トコロんのびのび塾」に関してはどこに書いているのでしょうか。

(吉川学校教育担当参事)

13ページに記載されています。

(中島教育長)

地域・学生ボランティアの参加について記載しても良いのではないのでしょうか。

(寺本委員)

今年度は会場を増やしているので、「施策の内容と今後の方向」のところに、「会場を増やし、時期も3つに分けて参加しやすいようにしている」との表現を加えても良いのではないのでしょうか。

(寺本委員)

56ページの基本方針3－基本目標2－主要施策(1)「教師力・組織力の向上」「施策の内容と今後の方向」の4つ目について、「健やか輝き支援室及び所沢市立教育センターが児童生徒・保護者からの相談対応を担う」とありますが、もう少し具体的に書くことはできませんか。例えば、どのような形で担うようにしているのか、時間帯なのか、人数なのか、問題があってから応援に行っているのかです。私が望む方向は時間帯で、学校では受け付けないよう、この時間帯に関しての相談はこちら(教育委員会)で受け付けますというような提案を保護者に対してすることです。担任の先生が勤務時間外まで保護者からの改善要望を電話で受けなければならないような現状を変える方向性が見える文言が欲しいと思います。可能な限りで考えていただきたいです。今後の方向が具体的に書いてあれば学校のほうとしても教育委員会全体としてこういう方向なので学校として17時以降は改善要望、相談についてはこちら(教育委員会)に相談してくださいと言えます。例えば、10時までは保護者からの相談に関する電話は受け付けませんなど、そのような制限を保護者に対して示して良いのではないかと思います。

(中田学校教育部長)

実際には全ての案件が学校からすぐ教育委員会に連絡が入るわけではありません。学校で懸案になったものは学校教育課、教育センターも積極的に関わっています。学校と教育委員会で組織的に取り組むので、学校で対応できるものは、保護者や児童生徒から信頼を得るためにも学校で対応しますが、実際には教育委員会が必要に応じて間に入るといふこともしていますので、引き続きということになります。

(中島教育長)

実際にこの前も保護者対応で指導主事7、8人を含めた教育委員会事務局職員が帰ったのは22時30分ということがありました。1校1校のトラブルを教育委員会が対応し、47校分を全て引き受けるとなると今度は教育委員会がパンク

すると思われま。結局教育委員会で対応しても最終的に学校に戻さないと問題解決にならないので、指導主事をアドバイザーとして学校に派遣して問題解決を図るとい形になり、なかなか学校から問題を引き離すのは難しいといことがあります。教育センターにしても教育委員会にしても、最後は学校へ戻さなければならないです。今もすでに事務局職員は対応に相当の時間を費やしているので、学校ばかりが問題視されますが、教育委員会の指導主事は帰りたくても帰れないといことがあり、なかなか引き受けるのは難しいのではないかと思ひます。

(中田学校教育部長)

ご心配いただいているとおひですが、学校にうまくつなぐことができれば学校で、児童や生徒の指導、保護者対応をしっかりとできることもあります。必要に応じて学校のバックアップ体制は教育委員会が図らなければならないと考えています。

(寺本委員)

説明を聞いて書くのは難しいと分かりました。

(中島教育長)

書くとそのとおりに進めなければならないですし、他県にあるようにセンターといのは難しいと思われま。最後は学校に戻さない限り、外部の機関で保護者と学校の問題を解決することはできないので、学校を起点にしないと問題解決を図れないです。学校だけ早く留守電にしてしまうと、保護者も自分の勤務が終わってから学校に電話をする人がほとんどのため、結局問題が後回しになり、ひどくなってから噴き出すことになるので、難しいところだ。働き方改革をしたくても世の中の働き方が変わっているので、両親ともフルタイムで働いていると、学校との面談や相談は仕事が終わった後になってしまいます。

(寺本委員)

困難なことは分かっていましたが、軽く言いすぎました。ただし、教員の負担といのは文書の電子化ではなく保護者対応だ。そこに焦点を当てた書き方はして良い気がします。

68ページの「教育課題に対応した学力向上推進事業」の「外国籍又は帰国児童生徒」に関して「※1 令和5年度ネイティブサポーター対応言語」が出ていますが、今後はネパール語とベトナム語が必要な言語になると思ひますので人材の

確保を目指してください。

(宮本委員)

17ページの「中学生社会体験チャレンジ事業」ではいろいろな事業が再開され、キャリア教育の充実を図っているのはありがたいと感じました。決算額を見たときに1校1万円に満たないと思い、おそらく先生方が直接足を運んで、人と人とのやり取りで職場体験の確保をしたりお礼状を直接お渡ししたり、次へのステップを築いていただいていると思えました。お忙しい中で地道な努力をされているという学校現場に頭の下がる思いがしました。

(中島教育長)

以前はもっと予算がついていました。最初は埼玉県が予算を出してくれていましたが、埼玉県が途中でやめたことで、市が引き受けることになったものです。県はいろいろと始めますが、しばらくすると全部予算を引き上げてしまうので、その後も市が継続したいと思うなら、市の予算でやることになります。

(宮本委員)

実際14万円の内訳はどういったものなのでしょうか。

(吉川学校教育担当参事)

基本的には1校1万円でやっています。

(中島教育長)

以前は賞状のような協力ステッカーを作り、事業所にお渡しするのに予算を使っていましたが、予算が少なくなったので、紙代、などの事務費に充てています。特に多額な予算が必要な事業ではないので、限られた予算の中でやりくりしています。

## 8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について (教育総務課)

○所沢市教育委員会の7月から10月までの主な行事予定について (教育総務課)

○「所沢市議会一般質問答弁要旨 令和6年第2回(6月)定例会」について

(教育総務課)

○所沢市立公民館設置及び管理条例を廃止する条例制定及び教育長臨時代理について (報告) (社会教育課)

○令和6年度「トコロんのびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクトについて  
(学校教育課)

○第35回所沢シティマラソン大会の開催日について(スポーツ振興課)

○埼玉県地域クラブ実証事業について(スポーツ振興課)

以下、質疑。

《特になし》

《休憩 午前10時45分～午前10時55分》

## 9 議事

### ●議案第11号 令和7年度使用小・中学校用教科用図書の採択について

資料に則り、吉川学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条に基づき、本市教育委員会で行うことになっていることから、教科用図書の採択をお願いするものである。

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択については、所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則に基づき任命された、7名の校長と学校教育部長からなる選定委員会において、本市の生徒が使用するのにふさわしいと考える教科用図書について教育委員会へ推薦する教科書として選定を行った。

本日は、選定委員会委員が本会議へ参加しており、各選定委員から全ての発行者の教科用図書に関する説明と教育委員会会議に推薦する教科用図書について種目ごとに報告を行う。質疑と協議をいただく中から、来年度から使用する中学校用教科用図書の採択をお願いするものである。

また、調査研究専門員代表者も本採択に向けた質疑及び協議に協力するため、参加する。

今年度採択する教科用図書は、「国語」「書写」「社会(地理的分野)」「社会(歴史的分野)」「社会(公民的分野)」「地図」「数学」「理科」「音楽(一般)」「音楽(器楽合奏)」「美術」「保健体育」「技術・家庭(技術分野)」「技術・家庭(家庭分野)」「英語」「道徳」の16種目である。本日は中学校

用教科用図書については、種目別に審議していただき、最後に、本年度の継続使用が決まっている小学校用教科用図書とあわせての採決をお願いしたい。

(中島教育長)

始めに選定委員長より、令和7年度使用の中学校用教科用図書の選定結果の概要について、説明をお願いします。

選定委員会委員長の結城小手指中学校長より、以下のとおり説明があった。

選定委員会は、所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則第2条により、教科用図書について、協議・検討を行い、所沢市教育委員会に報告をするものとなっている。専門員による調査研究の報告書は、市内の校長、教頭及び教諭で種目ごとに構成された調査研究専門員会を5月より4回にわたって開催し、作成した教科書の調査研究報告と県の調査資料2を種目ごとにまとめたものである。次に、教科書展示会の期間に合わせ、市内全15校に依頼した学校研究の集計結果、そして教科書展示会参加者からのアンケート、最後に保護者の代表であるPTA会長等に教科書展示会にお越しいただき、回答のあったアンケート結果を掲載している。これらをもとに、また、埼玉県の調査結果報告等も参考にしながら、選定委員会において2回にわたり協議し、「所沢市の子どもたちにとってふさわしい教科書」として教育委員会に推薦する教科書の選定を行った。

《国語》

選定委員会委員の吉川向陽中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科書は、「光村図書出版」である。はじめに、国語科の教科書について、一覧の順に説明する。4者ともに、めあてから振り返りまでの見通しが立てられるような構成となっている。

「東京書籍」は、全体を通して「言葉の力」をキーワードとして構成されている。「言葉の力」により、読解のポイントが示され、教材によっては抽象的な内容理解を図解で助ける工夫がされている。また、「言葉の力」を使って考えを深め、生徒が対話を通して自分や社会の未来について考えることができる教材が設定されている。

「三省堂」では、ほとんどが見開きとなっている「学びの道しるべ」により、

目標から学びの振り返りまで、見通しをもって取り組めるようになっている。その中にある「思考の方法」9種類が図解で、どのように考えれば良いかが示されている。また、「読み方を学ぼう」の項目で、どのように学べば良いか3年間で22の方略が示されている。

「教育出版」では、本文や活動の前に「学びナビ」として、「何を」、「どのように」学ぶか、目的意識を持たせる工夫がある。本文の終わりには、「みちしるべ」で「学びナビ」での学習プロセスに沿い、意見の引き出し、思考の形成、学びの共有が意図的にされるよう工夫されている。

「光村図書」では、「学びの扉」で学習の流れを見通す工夫があり、キャラクターのセリフにより、生徒が学習を調整できるようなヒントが書かれている。また、「学びのカギ」が全領域に設定され、生徒が身に付ける能力を焦点化して、具体的に示し、タブ及び資料編に一覧を掲載することにより課題解決能力を身に付ける工夫がされている。

選定の結果、国語の教科用図書は最も良いものに「光村図書出版」を推薦する。その次に良いものとして「教育出版」を推薦する。

「光村図書出版」の選定理由は、特に領域別に話すこと・聞くこと及び書くことの教材及び資料の数が多いこと。また「学びのカギ」で生徒たちが身に付ける力も焦点化されていること。併せて、別冊の「語彙ブック」があり、「描写」「言動」「思考」の3系統に整理して示すことで、国語の学習の中で生きる表現力を身に付けられる語彙が形成されている。更にデジタルコンテンツも豊富なこと、そして、CBTに対応していることもあり、選定した。

「教育出版」については、「学びナビ」がはじめにあることで、教員も生徒も学習の見通しをもって主体的に取り組むことができる。併せて、本文の終わりにある「みちしるべ」で「学びナビ」での学習プロセスに沿い、意見の引き出し、思考の形成、学びの共有が意図的にされるよう工夫されていることから推薦する。以下、質疑・意見。

(宮本委員)

選定で選ばれた2者についてお聞きします。古典の扱いは各社違いがあると思いますが、子どもたちが親しみを持ってより深く知っていく過程で、それぞれどのような良い点があるのか、指導しやすい点があるのか教えていただきたいです。

(吉川向陽中学校長)

両方の出版社において古典の扱いについては丁寧に行っていることがあるかと存じます。両者とも題材を絞って、つながりがある形で内容が扱われているように感じます。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「光村図書出版」「教育出版」の2者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見を申し上げます。

(寺本委員)

「光村図書出版」の「話す・聞く・書く」について良いページがあると感じます。例えば、1年生の34ページから始まる、写真を使って show&tell でスピーチを作るところがすごく分かりやすいです。また、2年生のプレゼンテーションの題材がわざとらしくなく面白いです。3年間表現に関することで大変優れた内容になっていると感じます。2年生の冒頭に『枕草子』が入っていて、古典を秋に集中してやらないのが良いです。教科書を読まれた方のご意見の中で、中学校の先生が3年生の教科書で新しく採用された鷲田清一さんの文章を取り上げています。やっとな鷲田さんの文章が中学生の教科書に載ったのだと感慨があります。難しいですが、「光

村図書出版」の学習の手引きが極めて分かりやすい導き方をしていますので、それに関しても「光村図書出版」が良いと思います。

(森田委員)

「光村図書出版」が良いと感じました。発達段階に応じた教材内容や対話的な学習ができ、多様な教材が取り入れられているという話を伺いましたし、SDGsと現代社会とのつながりを考える教材が入っているところで、自分のことを考え発信するなど、社会とのつながりを考えることができるのは良いと思いました。

(宮本委員)

「光村図書出版」が良いと思います。理由として討論のサンプルがいくつか載っているのですが、オンライン授業を増やすかどうか、生徒会の選挙など日常で自分事として考えるようなテーマが挙げられているところが良いと思いました。古典についても現代語訳との対応が分かりやすくなっていますので、子供たちも少しずつ馴染んでいけると感じました。

(中島教育長)

これまでの意見から、「光村図書出版」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「光村図書出版」、「国語」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《書写》

選定委員会委員の吉川向陽中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科書は「光村図書出版」である。はじめに、書写の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、学年のはじめのページで学年の目標が一言で掲載されている。各単元は、3段階で構成されていて、学習のねらいが明確化されている。また、「文字を『書く』って、なんだろう」では、イラストを用いて、生徒が身に付けた書写の知識技能が実生活でどのように役立つかについて簡潔に書かれている。

「三省堂」は、単元が順を追ってタブで表示され、書き方のポイントや内容が、短い言葉で明示されている。また、単元を通して学んだことを自分の言葉でまとめる書き込み欄があり、振り返りを記述するようになっている。さらに巻末に二次元コード一覧が示されており、自分の課題や興味にあった動画教材を閲覧し、予習復習ができるようになっている。

「教育出版」は、「学習の進め方」が「目標、考えよう、生かそう、振り返ろう」の4段階で構成されており、めあては短い言葉で明示されている。「振り返ろう」では、学習の目標が達成できたかについて「○、できた」「△、もう少し」を選び、自己評価するようになっている。また、日常に生かす教材として、中学校での学習内容について効果的なノートの取り方が紹介されている。

「光村図書出版」は「学習の進め方」が「考えよう、確かめよう、生かそう」の3段階で構成されている。課題に対する答えを考えるとところから学習が始まり、「何を学ぶのか」を確認し、生活に生かす構成になっている。また、「SDGs行動宣言」をつくる取組など、書写からできるSDGsについて掲載されている。さらに手本作成ソフト「お手本くん」では、毛筆による生徒の名前の手本が教科書教材と同様の文字で作成される。

選定の結果、書写の教科用図書は最も良いものに「光村図書出版」を推薦する。その次に良いものとして「東京書籍」を推薦する。

選定理由として、「光村図書出版」は行書に手厚いことが挙げられる。文字も運筆も分かりやすいという特徴がある。また、手本作成ソフトの「お手本くん」が他社にない特徴がある。さらに自宅学習にも効果があると思われる取り外し可能な「書写活用ブック」が備え付けられており、中学校での書写の学びに生かされるのではないかとすることが選定理由である。次に「東京書籍」は 学年の目標が掲載され、各単元が「見つけよう、確かめよう、生かそう」の3段階で構成され、ねらいが明確であり、書くことに対して実生活で役立つような観点からも触れられていることが選定理由である。

以下、質疑・意見。

(森田委員)

教科書によって同じ文字でもお手本の違いというものはあるのでしょうか。

(吉川向陽中学校長)

あります。

(寺本委員)

「お手本くん」というものは現行の教科書にも入っているのでしょうか。

(吉川向陽中学校長)

現行の教科書にはついていなく、新しいものだと思います。

(宮本委員)

書写の授業で左利きの子どももいると思いますが、その点についてのフォローはそれぞれいかがでしょうか。

(吉川向陽中学校長)

左手についての映像やフォローはされていると認識しています。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「光村図書出版」「東京書籍」の2者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見をお願いします。

(宮本委員)

「光村図書出版」を推薦します。国語の教科書は「光村図書出版」が候補となり、漢字の出てくるタイミングなどの関連性があるため推薦します。

(森田委員)

国語の教科書と同じもので「光村図書出版」を推薦します。「お手本くん」が良く、生徒の名前が教科書と同様の文字で作成されることは面白いと思いました。

(寺本委員)

「光村図書出版」が良いと思います。132ページから始まる人名漢字の行書、楷書の対照表が本当に必要です。書き初めの時に、2年生から行書になりますが、自分の字が分からない子たちが昔はいっぱいいました。行書の人名漢字は調べても出てきます。こういうニーズがあるということを「光村図書出版」は見ていますし、同じく人名について、書き初めの大きな用紙で名前をどう配置するかというのは大変難しいです。お手本がどうなるかということもそうですし、名前の文字が2文字の子から6文字の子までいっぱいいます。そのパターンをすべてではないですが、ひらがなの名前のパターンも「光村図書出版」は出していますので、生徒が知りたいことをよく理解している会社だと思います。

(中島教育長)

これまでの意見から、「光村図書出版」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「光村図書出版」、「中学書写」が候補となりました。なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《社会（地理的分野）》

選定委員会委員の原牛沼小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている地理的分野の教科用図書は「東京書籍」である。はじめに、地理的分野の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」では、単元を貫く探究課題、1単位時間の学習課題が設定され、地理的な見

方・考え方を身に付けるための手立てが示されている。見開きごとに学習内容の基礎的な確認をする「チェック」と内容を要約や短文でまとめる「トライ」が設けられ、言語活動の充実を図りながら、思考力・判断力・表現力等を高められるよう工夫されている。

「教育出版」では、見開きごとに学習のめあてとなる学習課題を提示し、「LOOK」によって導入資料の補足や本文との接続がスムーズにできるように構成されている。1単位時間の基礎基本の定着を図る「確認」と説明や対話的な活動によって思考を深める「表現」が設けられており、段階的に学習に取り組めるようになっている。

「帝国書院」では、1単位時間が「学習計画」「確認しよう」「説明しよう」というまとまりで構成され、章や節ごとに学習内容を確認でき、自分の言葉で説明する活動が可能になっている。また、各節ごとに写真やイラスト、地図などのその地域の特色がイメージできるような資料を見開きで大きく使い、興味関心を持たせるよう工夫がされている。

「日本文教出版」では、各章や各節ごとに「ふりかえり」「まとめ」が設定され、学んだことを理解、確認する工夫がされている。見開きごとに「学習課題」が提示され、また、振り返ることができる「確認」が設定されている。

選定の結果、最もよいものに「東京書籍」を推薦する。理由は「地域調査の手法の主題に「防災」を取り上げており、今後の災害への対応について言及し学ぶ機会となっているからである。所沢市の子供たちにとって、トコロん学力向上プロジェクトにおける授業の構造化に適し、「主体的・対話的な学びから深い学びにつなげる」授業を進めるのに適しているからである。その次に推薦するのは、「帝国書院」である。推薦の理由は、先ほどの理由に加え、地図資料が豊富で大きく掲載されているからである。

以下、質疑・意見。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

(寺本委員)

「教育出版」を加えてほしいです。理由について、ロシアという国は今問題になっていますが、ロシアを無視して世界は語れません。地理でロシアの扱いは「教育出版」以外の会社では「寒い国」「広い国」に留まってしまいます。ところが「教育出版」では74ページから75ページまでに、寒いことに加え石油の産出量やE.Uとのパイプラインの写真、ロシア・ウクライナ戦争のコラムがあります。他の教科書会社はウクライナについて「文教出版」は一部取り扱っていますが、「東京書籍」や「帝国書院」はウクライナの問題をはっきりと出していません。そうではなく、問題が起きたのは2022年で、編集の途中で問題が起きているわけなので、ウクライナの問題があるということを取り上げる会社の編集に対する魂を感じます。イスラムの扱いについても25ページにチャドルなど女性のいろいろな形が分かりやすく出ています。そのため、地理に関しては推薦していただいた2者よりも「教育出版」が優れていると思います。

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「東京書籍」「帝国書院」の2者と、教育委員推薦の「教育出版」1者、あわせて3者を協議の対象とします。

それでは、現在協議の対象となっている3者の教科書について意見をお願いします。

(宮本委員)

各社の冒頭の「なぜ地理を学ぶのか」を比較の対象に入れました。「東京書籍」において「人類と地球が長く共存できる持続可能な世界を作るため」ということで、地球とともにというところに良さを感じたので、「東京書籍」を推薦します。もう少し記載が欲しいと思う部分もありますが、バランスよく載っているのではないかと思います。

(森田委員)

見やすさの部分について「東京書籍」が良いと思いました。1ページの情報量が多く、イラストや図表がバランスよく載っていると思うため「東京書籍」を推薦します。

(寺本委員)

インドの記述を比較してみました。どの会社も、アメリカの裏側にあって時間が入れ替わるところで、ITのオペレーターの産業が発達しやすい環境をうまく説明していましたが、「教育出版」は隣のバングラデシュにも注目を当てています。南アジアの世界でインドは優

れたところ、開発途上国としての問題が注目されています。バングラデシュに対して我々が持っている、人口が多く貧困というイメージだけではない部分に焦点を当てています。私は「教育出版」の教科書の資料編集の考え方に大賛成です。

(中島教育長)

ここで協議を終了し、投票に移ってよろしいですか。投票の方法について説明します。教育委員の皆様には、協議に挙がっている教科書に順位をつけて投票していただきます。

協議いただいた3者の中から、所沢市の子供たちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」、3番目にふさわしいと思うものに「3」とご記入ください。1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、総得点の最も高い1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいでしょうか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」11点、「帝国書院」6点、「教育出版」7点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「東京書籍」、「新編 新しい社会 地理」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《社会（歴史的分野）》

選定委員会委員の原牛沼小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている歴史的分野の教科用図書は、東京書籍である。はじめに、歴史的分野の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」では、1単位時間の学習は、学習のめあてとなる「学習課題」が提示され、「チェック」で基礎基本を確認したり、「トライ」によって要約・説明等の言語活動の充実が図ったりできるよう構成されている。各章の導入部では、探究課題を立てることで興味関心を高め、まとめの活動を予告することで、単元の見通しを持たせている。

「教育出版」では、見開きごとに設定されるタイトルに、学習内容を象徴するような言葉が用いられ、生徒が学びたくなる工夫がされている。各章の導入ページには学習の見通しと全体像をとらえる問いが記載されており、章末の「HOP・

STEP・JUNP」では学習内容のまとめが段階的に整理され、最終的に歴史的な見方・考え方を深める問いが設定されており、章の学習内容が確認できるよう工夫されている。

「帝国書院」では、各章の導入ページに小学校で学んだ人物と主な出来事や象徴的なイラストが記載されており、どんな時代を学ぶのか予想を立てやすいように工夫されている。見開きごとの資料に吹き出しをつけ、学習の手がかりを示している。

「山川出版」では、写真やグラフについて生徒に考えさせたい課題が示されており、そこから時代の背景の理解に結びつくような工夫がされている。また、各章の終わりに、「まとめ」が設けられ、授業で学んだことを項目立てて整理できる構成となっている。

「日本文教出版」では、各時代の学習を、大きな資料から「めあて」を示し、それを年表と地図を使って確認できるなど、意欲・関心を高めるよう構成している。単元ごとに「確認」「表現」のコーナーがあり、1単位時間で学習した内容を自分の言葉でまとめができるよう工夫されている。

「自由社」では、小学校の振り返りから時代を概観し、その時代を象徴するような資料を示していて、学習の見通しを持てるように工夫されている。見開きごとに、学習した知識を活用する「チャレンジ」が設けられ、学んだ内容を整理できるように工夫している。

「育鵬社」では、章ごとに「学習のまとめ」というページが設けられており、知識・技能の問題（年表・地図・グラフの読み取り）、思考・判断・表現の問題（簡単な文章を書く記述問題）があるため、授業で学習したことを、再確認できるよう工夫されている。

「学び舎」では、章の最初のページが世界地図になっており、世界地図にその章で学ぶ内容が簡単にまとめられているため、各国の動きを同時にとらえることができる工夫がされている。章ごとに「学習のまとめ」というページが設けられており、授業で学習したことを復習できる工夫がされている。

「令和書籍」では、「考えよう」というコーナーが定期的に設けられており、課題をより深く考えることができるよう工夫されている。章の最後にまとめのページがあり、記述問題・選択問題・並べ替え問題等が設定されており、学習が再

確認できる工夫がされている。

選定の結果、最もよいものに「東京書籍」を推薦する。推薦の理由は、先ほどの説明に加え、学習指導要領の「歴史的分野の学習の構造化と焦点化」の点において、各頁に年表を表記し時間の経過を基に学習内容と学習の過程を構造的にとらえられるようにしているという点からである。その次には「日本文教出版」を推薦する。推薦の理由は、先ほどの説明に加え、視覚的資料等を活用し、各章の学習の見通しが持てるように工夫されているからである。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

「育鵬社」と「自由社」に関しては神道についてのページがそれぞれあります。「自由社」は神道に4ページ、育鵬社に関しては読まれた方のコメントで一般の方から「神道は日本固有の宗教とされているが日本固有のものではない」とあるように、私もそう思います。神道を日本固有の宗教であると今の授業で教えたりしますか。

(原牛沼小学校長)

授業では特段そのようには扱っていません。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

(寺本委員)

「令和書籍」を加えてほしいです。1位で推薦するのは「東京書籍」ですが、「令和書籍」の書き方がある面では他の会社より優れていると言いたいです。日本でいうと、第1次世界大戦の犠牲者の数とその死因については、「令和書籍」で382ページから401ページまで事細かに扱っています。例えば、この島では何人亡く

なった、樺太の真岡郵便局、また、北海道の留萌沖では終戦後に、何人がソ連の攻撃で亡くなっているということを記述しています。戦争が今、世界で起こっており、犠牲者や死者の数や死因の扱いは大変大事で、それを教科書がどれだけきちんと記述するかは義務だと思います。その点は「東京書籍」もぬかりなくやっています。ただほかの会社は「教育出版」にしても「帝国書院」にしても「山川出版」にしても数の記載が少ないです。前はもっと記載されていた数が出ていないです。それが記載されていれば、現在起こっているロシアとウクライナの問題で死者がどのように扱われているか、人間の命がどのように扱われているかを、我々の国の反省すべき歴史からも学べるのですが、それがあまりに少ないです。「令和書籍」は「育鵬社」や「自由社」と一緒にして言う人が多いですが、違います。天皇の記載で一貫しているところはありますが、日本の今までの政府が外国とどのようにやり取りしてきたかの記載で、「令和書籍」の158ページの明への書簡、139ページの元への書簡があり、現在の外務省がこのような骨のある文章を書いてほしいというような資料が載っています。「令和書籍」で世界史まで見通すと苦しいところがあるので1位には推薦できませんが、2番目か3番目に「令和書籍」が入ると良いと思います。推薦いたします。

(中島教育長)

1位に推薦するのは「東京書籍」ということでしょうか。

(寺本委員)

はい。

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「東京書籍」「日本文教出版」の2者と、教育委員推薦の「令和書籍」1者、あわせて3者を協議の対象とします。

それでは、現在協議の対象となっている3者の教科書について意見をお願いします。

(宮本委員)

「令和書籍」について私も採択にあたり読ませていただきました。そういう見方もあるのだと受け止めています。歴史については新しい情報は出てきますが、事実が載せてあり、子供たちが事実を知り、考えるためには、世界についても日本についても事実がバランスよく載っている教科書が良いと思いました。その点で行くと

「東京書籍」が世界と日本、世界の中で日本がどうあるのか、日本が世界をどう見ていたか、どういうポジションにいたのかがバランスよく書かれているのではないかと考えています。変わりゆく歴史解釈の中で学ぶとしたら、現時点では「東京書籍」だと考えています。

(森田委員)

「令和書籍」は教科書としてはどうなのかと思い読みました。自分の受け止め方で内容を受け取れるものと思い、難しい問題だと思い見せていただきました。私も推薦するとなると「東京書籍」です。右側に年表があり、並行しながら見ることができるのは良いと思いました。

(中島教育長)

寺本委員も推薦の1位としては「東京書籍」ということでよろしいでしょうか。

(寺本委員)

「東京書籍」「文教出版」「令和書籍」は縄文時代について、先進的な文明だということを説明しています。押さえるべきところを押さえている教科書だと思います。

(中島教育長)

これまでの皆様の意見から、「東京書籍」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「東京書籍」、「新編 新しい社会 歴史」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《休憩 1 2 時 0 0 分～ 1 3 時 0 0 分》

《社会（公民的分野）》

選定委員会委員の原牛沼小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている公民的分野の教科用図書は「東京書籍」である。はじめに、

公民的分野の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」では、単元を貫く問い、節ごとの「探求のステップ」の設定、本時の学習課題をすべて問いで示しており、問いを軸に構成することで生徒が見通しを持ちやすくなる工夫がされている。見方や考え方を働かせる活動では「見方・考え方マーク」があり、その見方・考え方を活用し、深い学びが達成しやすい工夫がされている。

「教育出版」では、各章のまとめページで「HOP」「STEP」「JUMP」と段階を分けてまとめをするようになっていて、学習したことを再確認しやすい工夫がされている。コラム「公民の窓」により、生徒が学んだことを生かし、より興味・関心を寄せながら多面的・多角的に課題の解決を促すよう工夫がされている。

「帝国書院」では、見開きページで設けられている「アクティブ公民」は現代社会において起こりうる事例が課題として示され、活動型の学習を通してそれまでの学習を生かし、深い学びができるように工夫されている。各章の振り返りには対話を促す設問があり、意見交換等の学び合いを通して思考が深まるよう工夫されている。

「日本文教出版」では、1授業時間ごとに学習課題の解決に向けた手がかりとなる「見方・考え方」を示している。各章のまとめは、「語句の意味を確認しよう」、「章の問いに答えよう」、「章の学習を振り返ろう」の大きく3つから成り立っており、知識の定着とともに、思考力や表現力等を活用したまとめの構成となっている。

「自由社」では、各単元の最初に学習課題を設定し、最後に確認事項をまとめた「ここがポイント！」が示され、基礎的・基本的な知識を周知させることを目指した学習に取り組めるよう工夫がされている。見開きには、本文の周りに用語解説を設け、1単位時間の最後に内容をまとめる記載があり、学習課題を解決できるよう工夫されている。

「育鵬社」では、各章の冒頭に見開きで設けてある「入り口」には、学習を貫く課題（問い）を示し、学習の見通しをもつことができるようになっている。また、なぜ学ぶのかを解説したコラムを設け、学習内容が自らの日常生活や将来にどのように役立つかが理解でき、学習の意欲を高める工夫がされている。

選定の結果、最もよいものに「東京書籍」を推薦する。推薦の理由は、先ほど

の説明に加え、主権者教育の視点について、政治への参画意識を持たせる工夫があり、「主体的・対話的な学びから深い学びにつなげる」授業を進めるのにも適しているからである。その次に「帝国書院」を推薦する。先ほどの理由に加え、「未来に向けて」「18歳への準備」のコーナーを設け、現代社会をより身近にとらえさせる工夫がなされているからである。

以下、質疑・意見。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「東京書籍」「帝国書院」の2者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見をお願いします。

(宮本委員)

「東京書籍」を推薦します。理由として始めの扉に「持続可能な社会や課題を自分事として捉える」と書かれているからです。子供たちが学ぶにあたって自分事として捉えるというのはとても大切なことですし、人生の中で他人事はなく、自分だったらという考え方を身に付けるための入り口として「東京書籍」が良いと思いました。国際問題について最終章で取り上げています。歴史、地理を学んだうえで領土問題や国際問題について学ぶタイミングが適切ではないかと考えました。

(森田委員)

「東京書籍」を推薦します。单元ごとに身近な場面設定に置き換えた動画が用意されており、難しい公民の内容を生徒が当事者意識をもって学べるように工夫されている点で、本人も身近に感じられると思いました。2次元コードが全教科書に繋がっているとありましたので、それも面白いと思いました。

(寺本委員)

「帝国書院」を推薦します。地理、歴史というのは学習のイメージがほとんどですが、公民は生活での実技と言えます。例えば、消費者として騙されないようにすること、何の料金がいくらかかるか、そのようなことを実際に身近に考えながら進める教科だと思います。帝国書院の130ページ「アクティブ」では、一人暮らしにはどれくらいお金がかかるか、そのような計算を実際にさせるページがあります。他のページでは「2040年の日本の電源構成案を考えましょう」とあり、当然原子力について排除はしていません。客観的に日本が取り巻かれている状況と、実際に生きていく子供たちがどう生活していくかを、身近に考えさせているという点で「帝国書院」は優れていると思います。教科書をご覧になった一般の方のコメントで「公民の教科書では「帝国書院」の内容が一番充実していました。」という意見がありました。社会は地理、歴史と「東京書籍」が採択されたので、「東京書籍」の公民のほうが連結は良いと普通には思いますが、科目は違うわけですから1者変わっても良いと思います。3年生になったら視点を変えて、自分の生活を振り返りながら公民の勉強をするのも良いと思います。

(中島教育長)

ここで協議を終了し、投票に移ってよろしいですか。投票の方法について説明します。教育委員の皆様には、協議に挙がっている教科書に順位をつけて投票していただきます。協議いただいた2者の中から、所沢市の子供たちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位を2点、2位を1点とし、総得点の最も高い1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいでしょうか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」7点、「帝国書院」5点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「東京書籍」、「新編 新しい社会 公民」が候補となりました。  
なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《地図》

選定委員会委員の原牛沼小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている地図の教科用図書の発行者名は、「帝国書院」である。はじめに、地図について一覧の順に説明する。

「東京書籍」では、「Bee's eye」という、地図帳を深く読み取るヒントになる問いが、1見開きに1問以上を基本に掲載するといった工夫がされている。社会科の教科書と連携した内容のページが設けられており、社会科の教科書で学んだことを再度、理解、確認できる内容になっている。

「帝国書院」では、地形だけでなく、各地域の自然環境や生活・文化、歴史や産業などさまざまな特色がより視覚的に読み取れるようになっている鳥観図で、地域を大観し、概略をつかめるような工夫がされている。主体的な学習を促すための問い「地図で発見！」を設けており、興味関心を高め、より深い学びができる工夫がされている。

選定の結果、最もよいものに「帝国書院」の1者を推薦する。選定の理由は、先ほどの説明に加え、防災や領土問題含め総括的に情報量が充実しており、また歴史及び公民的分野にも活用ができ深い学びにも結びつけることもできる工夫がなされているからである。

以下、質疑・意見。

(宮本委員)

地理の授業と連動して使うときに同じ会社のほうが便利ではないかななどの検討はいかがでしょうか。

(原牛沼小学校長)

そのような検討も行いましたが「帝国書院」におきましてはそれを上回る資料や見やすさ、地図の明細さ、そういった部分で認められましたので、「帝国書院」を推薦しております。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。この推薦のあった1者について、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

(寺本委員)

「東京書籍」の良い点ですが、在留外国人のデータについてこちらのほうが良いと思いました。ロシア連邦の各共和国の国旗のページがあり、それを見るとイスラムの国が入っていることが分かるので、そういった点では「東京書籍」が良いです。しかし、「帝国書院」の35ページに、中国大陸から日本を見た地図があり、中国から見ると日本はこう見えると分かるページや、最近注目されている関西の昔の地図、大和川の流域のページがあり、歴史の授業で面白く使えそうだと思います。戦争の点でいうと、太平洋戦争の戦地が一発でわかるページがあることなど、魅力的な点では「帝国書院」が上だと思います。先生方の感想の表では4校が統計の資料が良いと感じています。そのことから「帝国書院」の地図帳が優れている証だと思います。

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「帝国書院」の1者と、教育委員推薦の「東京書籍」1者、あわせて2者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見をお願いします。

(宮本委員)

「帝国書院」を推薦します。写真の量は「東京書籍」が多いように感じますが、「帝国書院」は各地域を俯瞰した図が地形図とイラストと一緒に載っていて、学ぶ中で自分のイメージを創り、実際に行きたいと思う気持ちが生まれるように感じました。色味の点でも、視力

に気になるところがある子どもでも使いやすいのは「帝国書院」であると思います。

(中島教育長)

「帝国書院」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、「帝国書院」、「中学校社会科地図」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《数学》

選定委員会委員の徳増小手指小学校長より、以下のとおり報告があった。

現在、使用されている教科書は、「啓林館」である。はじめに、数学科の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」では、単元を貫く課題を設定して、身につけてほしい資質・能力を生徒に伝えている。既習事項との共通点や相違点を見つけて総合的に考えさせたり、条件を変えて新しい内容を見いだして発展的に考えさせたりできる構成となっている。

「大日本図書」では、各章に問題発見・問題解決の4つのステップを示した課題を設定している。間違えやすい箇所には誤答例を記載し、批判的思考を養えるようになっている。巻末では、生活の中の数学を紹介し、数学の面白さを味わえるように工夫されている。

「学校図書」では、各章に「数学的活動のページ」を設定し、日常生活や社会の事象を数理的に捉え、数学的に考える思考力・判断力・表現力を育めるように工夫されている。学習の区切りには、解決できたことを明らかにした学習の振り返りができるようになっている。

「教育出版」では、章の導入では、作業や観察、実験などの活動に取り組んだり、新しい法則や性質を見出したりする活動を取り入れ、主体的な学びを引き出す工夫がされている。

「みんなに説明しよう」では、よく見られる誤りを取り上げ、同じ誤りを繰り返さないようにされている。

「啓林館」では、デジタルコンテンツが充実している。図形や関数を画面上で操作するだけでなく、例題や章末の解説、補充問題等も確認できるため、一人一人の理解度に応じた学習に活用できる。言語活動のコーナーでは、豊かな表現力や統合的に考える力を養えるようになっている。

「数研出版」では、巻頭の「学習の進め方」に、説明を聞くとき、発表をするとき、話し合うときに留意することを提示し、学び方に見通しを持てるように工夫されている。キャラクターを用いた対話形式による展開は、数学的な見方・考え方を用いて学習内容を深められるような構成となっている。

「日本文教出版」では、各章のはじめに、予習ができるように工夫されている。巻末には、「対話シート」があり、このシートを使って互いに考えを伝え合う協働的な学びを行い、考える力や説明する力を高められるようになっている。

これらをふまえて選定委員会で協議した結果、本市の中学生に最も適している発行者として「啓林館」、その次に適している発行者として「東京書籍」を推薦する。

「啓林館」は、「めあて」「ひろげよう」「例1」「問1」のように、学び方の順序が明示されているため、自学自習をする際に活用しやすいものとなっている。解法のヒントとなる言葉をキャラクターの吹き出しで提示したり、まとめを色で分かりやすく示したりして、数学科において数学的な見方・考え方を養う学習もできるようになっている。また、デジタルコンテンツの充実により、所沢市の中学生の課題の一つである図形や関数に関する学びに効果的と考える。これらの理由から、選定委員の多くが推薦した。

「東京書籍」は、学習意欲が高まる導入課題を設定し、身近な問題を解決する活動から学習につながるように工夫されている。習得した知識・技能をもとに問題を解決する「深い学び」のページでは、主体的に考え、対話を通して思考を深め合う学習を取り入れ、言語活動の充実を図れるようになっている。なお、「啓林館」に比べると、選定委員会での推薦の度合いは高くない。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

「啓林館」の関数の画面上の操作というものが分からないのですが、生徒が簡単にできるものでしょうか。

(徳増小手指小学校長)

グラフではなく表のほうを動かしていくと、その表に合わせてグラフが変化しているようになっているので、生徒も簡単に操作できると考えています。

(寺本委員)

そのコンテンツは他の会社では見受けられなかったですか。

(徳増小手指小学校長)

「東京書籍」も同じようなコンテンツが入っていました。

(森田委員)

数学の中で躓きやすい内容に対して、推薦の2者ではどのような配慮がされていますか。

(徳増小手指小学校長)

顕著に見られるのが「啓林館」でした。デジタルコンテンツになってしまいましたが、躓いたときにそれを自分で分かるように、デジタルコンテンツが解説をするというところがたくさんありました。「東京書籍」のほうでも同じように少しありますが、「啓林館」のほうがより分かりやすいと感じました。

(宮本委員)

教科書の記載内容について、証明については物事を順序立てて説明していく中で、途中の説明が入っているか、入っていないかで理解度が変わると思います。その部分を丁寧に扱っているのはどちらでしょうか。

(徳増小手指小学校長)

どちらも大きな差異はないです。どちらも丁寧に順序よく証明が書かれていると感じています。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「啓林館」「東京書籍」の2者を協議の対象とします。

## 《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見を申し上げます。

(寺本委員)

「啓林館」を推薦します。順序が明示されている点、自学自習がしやすい点があるからです。例えば、2年生の教科書に、リボンで作る二等辺三角形の証明のページが3者に入っているのですが、「啓林館」が一番分かりやすいです。3年生のピタゴラスの定理でも、なぜ $A^2+B^2=C^2$ になるかの証明のページが「啓林館」が一番分かりやすいです。そのため、いろいろなパターンの自宅学習において自分でついていけるのは「啓林館」だと思います。例えば、2年生の箱ひげ図のページで、「啓林館」の場合は、実例として通信速度の問題を取り上げているのですが、現実的に統計を使って面白い結果を導き出せる例の取り方が良く、難しい部分もあるかもしれませんが、「啓林館」の教科書を使っていただいて、生徒たちも先生方も数学を楽しんでいただければと思います。

(宮本委員)

証明のところがすごく気になりましたので比べさせていただきました。「東京書籍」と「啓林館」のほうは説明がしっかりされていて予習復習がしやすく、授業を欠席した際にも自学自習がしやすいと思いました。箱ひげ図で比べた際、「啓林館」が一番入り方がすっきりしていて、分かりやすい印象を受けたので、「啓林館」を推薦したいと思います。

(森田委員)

「啓林館」を推薦します。躓きやすいところは、分かって自分の力になる部分ですので、コンテンツが充実しているところ、コンテンツを利用して生徒の理解度に応じた活用や、登校が困難な生徒が自宅学習できる工夫になっていますので「啓林館」を推薦します。

(中島教育長)

これまでの意見から、「啓林館」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

## 《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「啓林館」、「未来へひろがる数学」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

## 《理科》

選定委員会委員の山元安松中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科書は「啓林館」である。はじめに、理科の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、「問題発見」で写真やイラストを大きく掲載することで、目的意識を持って学習に取り組めるように、また、「Before&After」で、学習前後の自らの思考の変化をとらえられる工夫をしている。

「大日本図書」は、「問題を見つけよう」において課題に気づく場面を設定し、既習事項から次の課題を把握できる工夫をしている。また、吹き出しで、比べ方や異なる観点を示し、多角的・多面的な視点で思考できるよう工夫をしている。

「学校図書」は、実験のページの冒頭に手順を示すことで、探究心を高め、意欲的に取り組める工夫をしている。また、「学びのあしあと」で学習前後の自己の変化を振り返ることができる工夫をしている。

「教育出版」は、「課題」と「結論」を強調し、吹き出しで課題解決への視点を示すことで、「見通し」を持てるよう工夫されている。また、「学習前の私」「学習後の私」で、考えの変容に気付くことができるよう工夫されている。

「啓林館」は、「ためしてみよう」で身近なものでできる実験を示し、学習意欲を高める工夫をしている。また、身近な問いから単元を貫いた学習内容の見通しが持てる工夫をしている。

各者、言語活動の視点として、「自分の言葉で表現し考えを明確化する」、「グループの対話で話し合い活動の活性化を図る」、など工夫をしている。

選定の結果、理科の教科用図書は、最も良いものに「啓林館」、その次に良いものとして

「東京書籍」の2者を推薦する。なお、2者についての優先順位にほとんど差はない。推薦理由としましては、5者ともに理科の学習指導要領改訂の基本的な考え方である「科学的に探究する学習」の充実を図る構成となっているが、この2者については、特に探求の過程の定着を一貫して図ろうという工夫があり、主体的・探究的な学習ができると判断したからである。具体的には、「啓林館」は、探究実験を各単元に用意し、教科書巻末の「探究の流れと探求のふり返し」で立ち返り、単元を越えて探求の過程を定着させる工夫等がある。「東京書籍」は、科学的な調べ方を一貫して取り入れた構成とし、教科書最下部に学習過程を表示し、生徒が把握しやすい工夫等がある。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

先生方からの感想の中に、「東京書籍の教科書を採択していただけると幸いです。一番大きな理由はデジタル教科書に収録されている動画の多さです。」とありますが、実際の授業でデジタル資料の動画は多くの先生が使うのでしょうか。

(山元安松中学校長)

デジタル教材については多くの先生が活用しています。

(宮本委員)

理科には実験がつきものですが特別な機材を使うことなく、学校にある機材を使って実験できるのが良いと思います。「東京書籍」と「啓林館」において、記載されている実験項目について、身近なもの、今ある環境で実現できるものはどちらですか。

(山元安松中学校長)

各社とも大きな差はありませんが、「東京書籍」のほうがより身近なものを使っていると感じます。

(森田委員)

若い先生が生徒に授業を教える時を想定して、「啓林館」と「東京書籍」で教えやすさのおすすめはどちらでしょうか。

(山元安松中学校長)

学習の流れが分かるという点においては、どちらの教科書も差異はないと思います。先ほども申し上げたとおり、「東京書籍」では教科書の最下部に学習の過程というのが左下に書いてありますので、今どこをやっているのか生徒も教員もつかみやすい部分があります。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることによろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「啓林館」「東京書籍」の2者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見をお願いします。

(寺本委員)

「東京書籍」を推薦します。実験の点について、各校の投票結果の中で、「手軽にできる実験が紹介されていて、とても取りかかりやすい」とされているのは「東京書籍」です。また、テスト対策で使う章末問題を見たとき、取りかかりやすく、欠席して自分でテスト対策をするときも、「東京書籍」のほうが分かりやすいです。現行、使っているのが「啓林館」ですが、現行の教科書を支持しているのは4校で、「東京書籍」を支持する学校が11校あります。普通は現行のほうが、年間指導計画を作るなど、そういう点でも票を得やすいはずなので、逆に言うと「啓林館」に対して相当使いにくさを感じている人が多いのではないかとというのが結論です。ですから、これに関しては現場の声を受け止めるのが大事だと思うのが一つと、もう一つ、3年生の教科書の章の構成ですが、「東京書籍」は1学期に化学がきて、夏休みを挟んで2学期に物理がきます。ところが「啓林館」は2学期のトッ

プに化学がきてそのあと物理がきます。2学期の後半に物理が来てしまいます。これは受験生にとって、すごく辛い状況で、塾に行かないで教科書に従って勉強をする子は、大変辛い2学期から3学期になると思います。章を入れ替えれば良いという説明も受けた気がします。私は「東京書籍」を一番で推薦します。

(宮本委員)

先ほど実験で手軽にできるのは「東京書籍」ということでお話がありましたので、「東京書籍」を推薦したいと思います。「東京書籍」のほうはデジタル動画も多く、「動画の種類が多く使いやすい」という意見がアンケートにもあったので、そこを授業に取り入れていければ良いと考えています。「啓林館」のほうもテキストの読みやすさがあり、読みやすい感じがしたので2つの候補で揺れています。

(森田委員)

正直私も揺れているところです。授業を進めるにおいて若い先生が進めていけるほうがやりやすいと思いますが、「東京書籍」の現場の意見で、こっちのほうが分かりやすいという形で押している過程もあるので揺れている状態です。

(中島教育長)

今現場の声という意見がありました。「東京書籍」のほうが良いという意見でまとりそうですか。それでよろしいですか。

(宮本委員)

先ほどの説明で、「2者についての優先順位はほとんどありません」と伺いましたが、良いものは「啓林館」ということで、そこをもう少し言葉を添えていただけたらと思います。

(山元安松中学校長)

全体の8人の総合的な意見としては「啓林館」のほうが良いということで、ほとんど僅差だったので、どちらが良いといえない中で「啓林館」に決定しました。表紙の絵が結構奇抜な絵をしています。理科的には課題が内在していてすごく良いと思うのですが、奇抜な絵ととらえました。特に「東京書籍」の第1巻です。表紙を開いてもらうと、上下左右が逆さまになっている課題ですが、今度は上下、左右膨らんでいます。表紙の裏側は自然界の中でそれを示している図です。3つとも共通性がある課題としてはすごく面白いと思います。

(寺本委員)

中学校の先生が、「デジタル教科書に収録されている動画が多くて、ネットワークに接続できない状況下でもデジタル教科書なら再生できる」とされています。意味が良く分からないのですが、これができるのは「東京書籍」だけであって「啓林館」ではデジタル教科書がないのか分かりますか。

(山元安松中学校長)

どちらの会社についてもデジタル教科書はあります。教科書を教室の画面に映して自由に動かすことはどちらもできます。

(寺本委員)

ネットワークに接続していなくても使えるということですか。

(山元安松中学校長)

教室内で使えます。

(中島教育長)

先生方も僅差ということですが、学校研究の結果については「東京書籍」11校、「啓林館」4校と大きな差がついているという状況です。学校側の支持からすると「東京書籍」のほうが多いというわけですが、いかがでしょうか。

(森田委員)

現場の先生の意見を重視したいと思います。

(中島教育長)

これまでの意見から、「東京書籍」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「東京書籍」、「新編 新しい科学」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《音楽（一般）》

選定委員会委員の山元安松中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科書は、「教育芸術社」である。はじめに、音楽の教科書について、一覧の順に説明する。

「教育出版」については3冊とも表紙絵は教科書で出会う歌詞がモチーフとなっている。滝廉太郎の「花」では美しい写真とともに二次元コードで読み込み視聴ができるようになっている。12ページ左側にねらいを示している。16ページ「比べてみよう」で、学習を深め、思考を広げる工夫がされている。54ページ「ポピュラー図鑑」ではブルースやジャズなど幅広い音楽を味わえるような内容が記載されている。84ページ「(ふるさと)」では、3年間で同声2部、混声3部4部と合唱が発達段階に応じて全校合唱できる曲が掲載されている。全体を通して表現と感情がバランスよく配置され、「学習マップ」では年間の学習内容を関連付けて示されている。様々な音楽について比較して学習し、共通性や固有性を考え、音楽文化の理解を深めるための工夫がされている。

「教育芸術社」について、表紙が続き絵になっており、3年間の学習のつながりが深められる。滝廉太郎の「花」が美しい写真で紹介されており、二次元コードを読み取ると、パート別の伴奏の音源で個別練習ができ、発展的な学習につなげるような工夫がされている。30ページ「Let's クリエイト」の創作では創作した音楽について意見交換し、学び合いができるような工夫がある。また、ミュージカルや映画音楽、J-Pop、アニメソング、ヒップホップと幅広い音楽を愛好できるような曲が掲載されている。全体を通して、表現と鑑賞がバランスよく配置されている。自国や諸外国に伝わる音楽では、その良さを感じ取りながら、表現活動に取り組み、音楽文化の理解を深めるための工夫がされている。

選定の結果、音楽の教科用図書は、最も適しているものに「教育芸術社」の1者を推薦する。

選定理由は、歌唱、創作、鑑賞といった分野を横断的に学ぶことができ、生徒が見通しをもって学習することができるためである。また、ミュージカルや映画音楽、J-Pop、アニメソング、ヒップホップと幅広い音楽を愛好できるような曲が掲載されているからである。なお、選定委員の多くが推薦に賛成し、強く推薦する。

以下、質疑・意見。

(宮本委員)

著作権も音楽の授業において知る知識だと思います。今 SNS や自分の Instagram に投稿するときに音楽を使うなど、子供たちが日常でやっていることだと思いますので、著作権についてそれぞれの会社での説明は何年生で行われているのか、中身の深さについて調査内容にありましたら教えていただきたいです。

(大館伸栄小学校長)

2者とも著作権については学習する形になっております。特に3年生の下の教科書では「教育出版」では「コンピュータと音楽」、「教育芸術社」では「ルールを守って音楽を楽しもう」と記載されております。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。この推薦のあった1者について、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

(寺本委員)

1位として選ぶのは「教育芸術社」ですが、「教育出版」の良いところも伝えてよろしいでしょうか。現場の先生の支持は12対2で「教育芸術社」です。先生方がやりやすいこと、音楽は時間数が少なく、行事やいろいろなことがあって大変です。私が最近知り合っている30代の音楽家がいるのですが、彼らに楽譜を見せてもらおうと、だいたいコードネームで書かれています。昔ながらのコードネームで音楽を楽しんでいます。コードネームに関してだけ言うと、「教育芸術社」よりも「教育出版」のほうが1年生の28ページという早い段階で、いろいろなコードネーム「add9」や「sus4」が出てきます。こういうものに興味を持つ子がいたら、「こんな風アレンジできる」ということを知って早いうちから音楽に親しんでいくと思います。こういうページを、できれば「教育芸術社」も次回には入れてくれれば

良いということでは言わせていただきます。

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「教育芸術社」の1者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、「教育芸術社」、「中学生の音楽」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《音楽（器楽合奏）》

選定委員会委員の山元安松中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科書は「教育芸術社」である。はじめに、教科書について、一覧の順に説明する。

「教育出版」について、表紙裏に写真とページを掲載し、わかりやすく楽器の紹介をしている。リコーダーは8ページから掲載されているが、小学校で既習したソプラノリコーダーと中学校で導入するアルトリコーダーの曲を両側に示し、確認しながら演奏できるように工夫されている。30ページ「表現の仕方を調べてみよう」では、同じ種類の楽器の特徴を調べ、自分の意見を持ち、その内容を友達に紹介し、話し合う活動ができる。全体を通して、学習した知識、技能を生かし、個に応じて発展的な学習を進めることができる資料が多く示されている。

「教育芸術社」について、教育芸術社の表紙裏で写真とともに中学生の心に響くメッセージを掲載している。10ページからはリコーダーの基礎的な奏法について、段階的に発展した曲がレッスンフォームで示され、2次元コードを読み取り伴奏の音源に合わせて個別練習ができるように工夫されている。琴の学習では、琴の曲を聴いたり、演奏したりした後、43ページマイメロディで旋律を作ることができる。全体を通して音楽家の幅広い知識や技能を得られるような工夫がされている。学習指導要領に示された3つの資質、能力に対応する学習内容や教材を見開きで示し、学習が見通せる工夫がされている。

選定の結果、器楽の教科用図書は、最も適しているものに「教育芸術社」、の1者を推薦する。

選定理由は、生徒が1年間の見通しを持ち、何を学ぶのかも理解することができる点、生徒と先生の吹き出しのコメントより、課題解決へのヒントを考える手立てとなる点、二次元コードを使うと、教育芸術社のページに飛び、音源を使った練習ができる点、また、教材の左に、ねらいや何を学習するのかなど示してあり、音楽を形づくっている要素（基礎・基本）を意識して教えることができる点である。なお、選定委員の多くが推薦に賛成し、強く推薦する。

以下、質疑・意見。

（中島教育長）

ご意見、ご質問はございますか。

（寺本委員）

「教育出版」の11ページに「左手だけで吹きましょう」というページがありますが、あえて左手だけでやる試みは授業であるのでしょうか。

（大舘伸栄小学校長）

左手だけだと運指が簡単ですので、小学校の導入で扱ったりします。

（宮本委員）

2者を比べたときに、リコーダーでも他の楽器でも合奏したときに、いろいろな曲を演奏できるのが良いと思うのですが、そういったチャレンジできる楽曲数に差はありますか。

（山元安松中学校長）

特に差異はありません。

（宮本委員）

例えば、リコーダーの曲が多いとか、いろいろな楽器と組み合わせて演奏できるようになっているとかそういう特徴に差はないですか。

（山元安松中学校長）

差はないです。

（森田委員）

選定理由の中で「教育芸術社」の二次元コードを使うと「教育芸術社」のページに飛び」とあるのですが、これは同じ会社ということよろしいでしょうか。

(山元安松中学校長)

はい。そうです。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。この推薦のあった1者について、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

(寺本委員)

先ほどと同じように、結論から言うと「教育芸術社」を推薦しますが、「教育出版」の良いところを伝えます。「教育出版」の10ページと11ページに「左手だけで吹く」や「同じ音だけで」というページがありますが、ここについている和音、コードがすごくおしゃれです。「教育芸術社」にはこれがありません。ですから、こういうページを次回入れてほしいです。

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「教育芸術社」の1者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、「教育芸術社」、「中学生の器楽」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《休憩 14時02分～14時10分》

## 《美術》

選定委員会委員の結城小手指中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科書は「日本文教出版」である。はじめに、美術科の教科書について、一覧の順に説明する。学習指導要領の美術科の目標の達成に資するという観点から、出版者ごとに特徴をそれぞれ2点ずつ上げる。

「開隆堂」について美術作品として漫画が大きく取り上げられ、生徒の興味関心を高める工夫がされている。作品と合わせてアイディアスケッチや作者の言葉などを掲載し、作品がどのような発想・構想のもとにできたのかを紹介するとともに協働で行う創造活動の作品数が多く掲載されている。

「光村図書」について、制作の過程が見えるみんなの工夫を掲載し、生徒が試行錯誤しながら制作に取り組む様子を丁寧に紹介し、生徒自身の思考を深める工夫がされている。別冊資料に写真を撮影したり、映像を制作したりするなどデジタル教材資料にも触れ、とじ込み資料では、和を感じさせる質感の紙で日本画を楽しむ5つのキーワード（四季・動物・不思議・余白・構図）用いて鑑賞の視点を示している。

「日本文教出版」について、実寸大の土器、実際にページを折る屏風絵など、体験的に鑑賞できる工夫がなされている。全ての題材で鑑賞の入り口として題材に応じた作品と考えるポイントが提示されており、学習の見通しが持てる工夫がされている。生徒の作品が多く掲載されている特徴がある。

選定の結果、美術の教科用図書は、最も適しているものとして「日本文教出版」、次に適しているものとして「開隆堂」の2者を推薦する。

まず、「日本文教出版」を選定した理由について3点ある。1点目は教科書が工夫されており、体感しながら学ぶ工夫が子供の感性を大事にしていることである。2点目は鑑賞の入り口として、題材に応じた作品に考えるポイントが示されていることである。3点目は作品数が大変に充実しており、子供たちが創造力を働かせて作品を作る際、対話的な深い学びを行う際にも、美術文化への理解や参考になる教科書であるということである。

次に、「開隆堂」を選定した理由について3点ある。

1点目はキャラクターの吹き出しで、鑑賞の視点を示し、作品を多角的に見ることができることである。2点目はアイディアスケッチや作者の言葉が掲載され、

発想や構想を大切にしていることである。3点目は学習の流れがわかりやすく、個別最適な学びと協働的な学びの展開がしやすいことである。

以下、質疑・意見。

(宮本委員)

生徒の作品がどの教科書にもたくさん掲載されています。所沢市でもおそらく生徒の作品がたくさん出ていて、もしかするとこの中に採用されているものもあるのではないかと思います。推薦いただいた「日本文教出版」と「開隆堂」の2者について、そのあたりいかがでしょうか。

(結城小手指中学校長)

所沢市在住生徒の作品掲載につきましては「日本文教出版」が7点、「開隆堂」が3点となっています。

(北野委員)

美術は基本的には名画・名作と言われている作品を鑑賞することから始まるもので、いわゆる本物を鑑賞するのが最初だと思っています。どの教科書が一番鑑賞に重点を置いているのでしょうか。

(結城小手指中学校長)

主に日本人の作品数につきましては、「開隆堂」が65点、「日本文教出版」が161点です。外国人の作品数につきましては、「開隆堂」が90点、「日本文教出版」が93点です。

(北野委員)

現在使われているのは、「日本文教出版」の教科書ですが、現場の先生方からはその教科書に対して使いづらいとか、何かクレームみたいなものは出ているのでしょうか。

(結城小手指中学校長)

学校研究の結果によりますと、「日本文教出版」が使いやすいと多くの学校から支持をされています。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とす

ることによろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「日本文教出版」「開隆堂出版」の2者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見をお願いします。

(寺本委員)

自分が美術の教科書から実技として教えてほしいこととして、目の描き方があります。参考になるページを探してみたのですが、「日本文教出版」の2・3年生の下の9ページの絵から始まって、11ページから13ページあたりまで別々の視点の目の描き方の参考例が連続しますので、そういう点からいっても「日本文教出版」が良いと思います。現場の先生たちの支持も「日本文教出版」が半数以上ですので「日本文教出版」を推薦したいと思います。

(森田委員)

「日本文教出版」を推薦します。作品数が多いことと、写真等が見やすく整理されており、実物大の写真があって見やすいと思いました。また、推薦するのは「日本文教出版」ですが、個人的には「開隆堂」の表紙の凸凹がとっても気に入って興味をひくもので良いと思います。

(宮本委員)

私も「開隆堂」の凸凹は好きで、ゴッホの『ひまわり』をよく表現されていると思いますし、後ろの資料提供協力というところの配置のデザインもすごくおしゃれで素敵だと思いますが、「日本文教出版」を推薦したいと思います。理由は作品がとじ込みで大きな見開きになっており、1年生は風神雷神の屏風図が大きく

載っているところや、2・3年下の真ん中にある「東日本大震災をうけて」という作品を、クローズアップした形で載せていることです。作者が大変大きな作品をペンとインクと水彩で一つ一つ描いており、集中力や生きようとする気持ちを強く感じるので、感受性の高い中学時代にこういう表現を見て、自分もこんな風に力強く描きたいと思ってくれたらいいと思いましたので、「日本文教出版」を選びたいと思います。

(北野委員)

先ほどの説明で、名作の取り扱いが3者でありあまり差はないとしたときに、現場の先生方が長年使っていて良いという実際の評価を私は大事にしたいと思っています。その意味で「日本文教出版」を推薦します。

(中島教育長)

これまでの意見から、「日本文教出版」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「日本文教出版」、「美術」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《保健体育》

選定委員会委員の相川富岡中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科書は「学研」である。はじめに、保健体育の教科書について一覧の順に説明する。

「東京書籍」の特徴だが、見開き1ページで「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4つのステップが配置され、学習の見通しが持てるよう工夫されている。各章末の「学習のまとめ」から、その章で学んだことを確認したり、日常生活に生かしたりするためのデジタルコンテンツにアクセスできるよう工夫されている。

「大日本図書」の特徴だが、写真、絵、図、グラフが充実しており、学習の内容、科学的な内容、現代的なテーマが一目でわかるようにされている。「学びを活かそう」では、学習したことから生活に生かすための課題を設定し、思考を深

める対話的な活動をとおして、深い学びが実現できるよう工夫されている。

「大修館書店」の特徴だが、各単元の始めに、「課題をつかむ」「きょうの学習」というコラムを設け、学習内容につながる気づきや思考を促す問いかけがあり、生徒同士がかかわりあう多様な活動方法が示されている。「動画コンテンツ」等の4つのデジタル教材を導入し、タブレットを活用した授業が展開できる工夫がされている。

「学研」の特徴だが、①ウォームアップ、②エクササイズ、③学びの活用の項目に分け、1時間の流れが明確になるよう工夫されている。「エクササイズ」や「学びを活かす」の項目では「話し合い活動」、「実習」の項目では、「互いに評価することで共同的な学び」になるよう工夫されている。

次に推薦する教科書とその選定理由を説明する。

保健体育については、最も適しているのは「東京書籍」の「新編 新しい保健体育」、次に適しているのが「学研」の「新・中学校保健体育」である。

最も適しているものとして挙げた「東京書籍」については、見開き1ページに学習の内容がまとめられ、生徒にとってわかりやすい構成になっている。また、デジタルコンテンツで、日常生活に生かしたり、学んだことを確認したりできるような工夫がされている。性とどう向き合っていくのかでは、資料が大変充実し中学生が身近な課題として学びを深めていく工夫がされている。

これらのことから、選定委員の多くが推薦に賛成した。

次に適しているものとして挙げた「学研」だが、基本的には①ウォームアップ、②エクササイズ、③学びを生かす項目に分けて、1時間の流れが明確になるように工夫されている。また、災害防止や心肺蘇生などについても、写真等が充実しており、がん教育の中ではがん患者との接し方にも触れている。

これらのことから、選定委員も東京書籍の次に推薦に賛成した。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

今の1位と2位の順位について、現場の先生方の票数から見ると「学研」のほうが1位になっています。選定委員の方々の意向と現場の意向が逆になっている点についてはどのようにお考えですか。

(相川富岡中学校長)

「東京書籍」のほうは、実際に教科書を開いたときに見開きで1時間という構成にとられているというところが使いやすいのではないかとということが挙げられると思います。

(宮本委員)

心身の発達と心の発達で揺れる時期になりますが、そういった単元の取り上げ方や説明の仕方について、「東京書籍」と「学研」において何か違いはありますでしょうか。

(相川富岡中学校長)

心身の発達と心の健康についてはどの教科書も同じように取り扱われています。従いまして、特別な大きな差異はございません。分かりやすさの部分では、多少意見が分かれるところではあります。

(宮本委員)

分かりやすさというのは、生徒にとって分かりやすいかどうか、教えやすいかどうかとはまた違うということでしょうか。

(相川富岡中学校長)

学校からの研究に挙げられていますように、解説が分かりやすいとか、図表が多く使われていて見やすいところがあります。そういった意味で、教員の方も生徒の方も分かりやすいものとして捉えられるものではないかなと思います。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「東京書籍」「学研」の2者を協議の対象とします。

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見ををお願いします。

(寺本委員)

「東京書籍」を1位にしたいと思います。現場の先生からの意見で、複数デジタルコンテンツの充実が挙げられています。実際に保健体育の授業は画像で見せることは非常に大事だと思いますので、その点で「東京書籍」は評価されると思います。また、各社の教科書をいくつかの項目で比較してみたのですが、心肺蘇生法について、AEDを含む心肺蘇生法については、「東京書籍」が最初のページは少ないですが、実は後ろのまとめのところでももう一回繰り返して、すごく分かりやすく画像と図式で説明しています。この点で使いやすいのは「東京書籍」だと思います。もう一つ、性に関する問題、事件に発展するような項目の扱いですが、「東京書籍」は36ページから37ページ、「学研」は52ページから53ページにあります。「学研」で一つこれはどうかと思ってしまったのが、被害にあう事例の記述のコラム記事です。一方「東京書籍」のほうはそういうことは穏やかにして、中学生がグラフとして「自分の現在と比べたい」のところ、関心事、入試先など、生徒が知りたいことを「東京書籍」は的確に探って出していると思いますので、いろいろな点から「東京書籍」を第1位に推薦します。

(北野委員)

寺本委員がおっしゃっているのは「学研」の何ページですか。

(寺本委員)

53ページの下、四角の中のコラムにある男性側の脅し文句です。これは良くないと思います。男子生徒がこれを使ったらどうしますか。

(北野委員)

決して望ましくはないですが、私自身は、この程度のことは中学生全員知っているのではないかと思いました。私は「学研」のウォームアップとエクササイズが、まず生徒に気付かせるということで、きちんと問題意識を持たせる点があり、個人的には「学研」が良いと思いました。

(宮本委員)

「東京書籍」が良いと思いました。性についてはどう思うかが、それぞれの教科書にあるのですが、「東京書籍」の内容は51ページ「性の多様性」のところでやんわりと受けていて、ここに至るまでの心の発達や、精神的な部分での発達、自己形成や欲求と心の健康を丁寧に扱っているのが15歳までの時期には大事だと思います。そのうえで、その先また考えることなので、まず自分を作るというところに重点を置いている印象を受けた「東京書籍」を推薦します。

(森田委員)

迷っている状態ではありますが、中学生なので性のことも出てくると思います。「東京書籍」の資料が、性とどう向き合っていくかのところで、資料が大変充実していて、中学生の身近な課題として学びを深めていく工夫がされているところが適しているということで上がっています。また、授業の進め方で「東京書籍」の見開き1ページで区切りがつく進め方のほうが、先生方の進め方に良いと思ったので、「東京書籍」を推薦したいと思います。

(中島教育長)

ここで協議を終了し、投票に移ってよろしいですか。投票の方法について説明します。教育委員の皆様には、協議に挙がっている教科書に順位をつけて投票していただきます。協議いただいた2者の中から、所沢市の子供たちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位を2点、2位を1点とし、総得点の最も高い1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいでしょうか。

《異議なし》

**【投票結果】**

東京書籍9点、学研6点

(中島教育長)

それでは、投票の結果、「東京書籍」、「新編 新しい保健体育」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《技術・家庭（技術分野）》

選定委員会委員の諸山口中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科用図書は「開隆堂」である。はじめに、教科書について

て、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、学習の流れが、「目標」から「レッツスタート」「学習課題」「まとめ」まで、見開きで同じ位置に配置され、生徒が見通しを持てる構成になっている。また、各編末の「すごいぞ！技術」では、内容に関連する最先端の技術に携わる「技術の匠」を紹介し、学習した内容が将来の進路や仕事の選択につながるための工夫がされている。

「教育図書」は、問題の発見から解決までの流れを漫画やイラストで構成した「問題を解決する流れを考えよう」が内容ごとにまとめられており、主体的に課題解決をするための工夫がされている。また、学習の冒頭の「めあて」と末尾の「振り返る」が対応しており評価がしやすい構成となっている。別冊の「スキルアシスト」は、実習のための基礎技能を学べるようになっている。

「開隆堂」は、各ページが「学習の目標・学習課題」「学習内容」「CHECK」で構成されており、学習の流れがつかみやすいように工夫されている。また、ガイダンスの中で「願いや要求」「科学的な原理・法則」「しくみの最適化」という「技術の見方・考え方」についての視点を分かりやすく説明し、各内容で繰り返し取り扱うことによって、「技術の見方・考え方」を身につけさせることができるように工夫されている。

選定の結果、技術の教科用図書は、最も良いものに「開隆堂」、その次に良いものとして「教育図書」を推薦する。

「開隆堂」の選定理由は、学習の流れがつかみやすい構成となっており、「技術の見方・考え方」を働かせて、学べる構成となっていること、製作品の例示数や二次元コードによる参照資料の数が充実しており、生徒が作品づくりや学習を進める際の大きな助けになること、情報モラルや知的財産など、技術にかかわる倫理観についての内容が充実していることである。

「教育図書」については、基礎技能を分かりやすく学ばせることができる別冊資料が付属しており、若い教員が教材研究をスムーズに行うことが可能であること、子供たちが興味・関心を高め、課題を見つけることから学習を始める構成となっており、「問題解決的な学習」を主体的に取り組むことができるような工夫がされていること、プログラミング学習に関する内容が充実していることである。なお、「開隆堂」に比べると、推薦の度合いは低くなっている。

以下、質疑・意見。

(寺本委員)

「開隆堂」の参照資料はデジタルの資料ですか。

(諸山口中学校長)

参照資料はデジタルもございますが、製作品の例示数とともに、教科書の中に写真等も入っていますので、それを含めたものを言っています。

(寺本委員)

デジタルの資料は生徒が学校から借りているパソコンを家に持って帰っても閲覧可能なのでしょうか。

(諸山口中学校長)

可能です。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「開隆堂出版」「教育図書」の2者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見をお願いします。

(寺本委員)

「開隆堂」を推薦します。216ページから229ページまでにパソコンでよく見かける「www」などの省略する言葉の意味の解説があり、英語で実はこれを略しているという解説がすごく豊富です。今さら聞けないようなことを説明してくれているので、中学の段階からこの教科書を使って、卒業した後もこの教科書を持っていたら、ここに立ち戻ればいいと思います。また、キーボード操作やプログラミング言語の説明も「開隆堂」が一番分かりやすかったです。

(宮本委員)

「開隆堂」と「教育図書」どちらも良いと思っています。それぞれ説明しますと、「開隆堂」のほうは作品の例が多くて、制作のプロセスや道具の使い方が一つ一つ丁寧に切り出されて説明されています。何かを作っていく中で一つ一つ説明が必要なのですが、この「切る」という行為について、そういう形で説明されていてとても分かりやすいです。自分で夏休みに木工をやろうと思ったときに、バイブルのように使えるのではないかと感じました。「教育図書」のほうは別冊の本がついていまして、こちらは取り外していろいろと見て持ち運びしやすく、自分が何かしたいときに参考にできる別冊資料がついています。これもメリットで、今はどちらが絶対にいいとは決めかねています。教科書としての使い方、別冊を活かしていくのは子ども次第だとは思いますが、学校として教える立場からはどちらのほうを使いやすいとかはありますでしょうか。

(諸山口中学校長)

両者それぞれ良い点、悪い点がありますが、「開隆堂」のほうが1冊にまとまって技能面も学べますし、それまでの基礎的な知識も学べるので、机の上に1冊置いてあれば、分からない子もそれを見て解説が理解できると思います。「教育図書」の方は別冊になっているので、2つの教科書を照らし合わせながら見なければいけない部分もあります。使いやすさでいくと「開隆堂」のほうな気がいたします。

(北野委員)

私が見る限り、「開隆堂」はSDGsを正面に持ってきて、その実現のために「技術がどうあるべきか」と良い視点で問題を投げかけています。「東京書籍」ではそういう内容は入っていますが、正面からSDGsにどう対応していくかとは見つ

からないです。そういう意味で、現在も使われていて、視点も良いので「開隆堂」を推薦します。

(森田委員)

「開隆堂」を推薦したいと思います。技術のワンポイント工具紹介などもあり、生徒の興味を引くような題材があります。技術の授業をする際、工具に興味を持って形から入ると思うので、そういうところがあるのは良いと思いました。

(宮本委員)

私も「開隆堂」を推薦したいと思います。作成のプロセスがとても説明が丁寧なので今後も使えると思っています。

(中島教育長)

これまでの皆様の意見から、「開隆堂」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「開隆堂」、「技術・家庭 テクノロジーに希望をのせて」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《技術・家庭（家庭分野）》

選定委員会委員の諸山口中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科用図書は「開隆堂」である。はじめに、教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、学習内容ごとに「目標」を明示し、身近な話題から生徒の興味関心を引く導入部分が課題発見につながる学びとなるように構成されている。また、二次元コードによる動画や資料が充実しており、生徒の理解を支援するための工夫がされている。小学校家庭科との系統性や他教科との関連についてもわかりやすく記載されている。

「教育図書」は、学習内容ごとに「見つめる」「学ぶ」「振り返る」の流れで構成されており、生徒が見通しを持って学習を進めることができるよう工夫され

ている。また、重要語句の表示や、写真やイラストの色使いがはっきりしており、視覚的な工夫がされている。「やってみよう」「話し合ってみよう」の項目では、グループでの活動を設け、主体的・対話的な活動を行いながら課題解決ができるように工夫されている。

「開隆堂」は、学習内容ごとに教科書に直接書き込みながら、自分の考えや理解の状況を確認できるように構成されている。また、見開きで写真や図のページがあり、視覚的に興味関心を引き、理解を深めるための工夫がされている。調理実習例には、調理方法 Q&A があり、科学的根拠を示しながら、料理方法のコツを示したり、アレルギー物質を含む食材を黄色で表示したりして、生活に生かせるよう工夫されている。

選定の結果、家庭の教科用図書は、最も良いものに「開隆堂」、その次に良いものとして「東京書籍」を推薦する。

「開隆堂」の選定理由は、学習内容ごとに教科書に直接書き込みながら自分の考えや理解の状況を確認できるように構成されていること、小学校から中学校への移行がスムーズになるように、ガイダンスの内容が充実していること、調理実習例には Q&A や科学的根拠を示しながら料理方法のコツを示したり、アレルギー物質を含む食材を分かりやすく表示する工夫がされていることである。

「東京書籍」は、身近な話題から生徒の興味関心を引く導入部分が課題発見につながる学びとなるように構成されていること、二次元コードによる動画や資料が充実しており、視覚的・聴覚的にわかりやすい工夫がされていること、安全や衛生に配慮する項目を数多く取り上げていることである。なお、「開隆堂」に比べると、推薦の度合いは低くなっている。

以下、質疑・意見。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せ

て、推薦するようお願いします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「開隆堂出版」「東京書籍」の2者を協議の対象とします。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見をお願いします。

(北野委員)

「開隆堂」を推薦したいと思います。141ページから149ページに「なぜ」が書いてあります。私は「なぜ」という説明が大事だと思っています。きちんと理解するためには「なぜ」を理解することで、行動できるようになると思います。Q&Aで「なぜ」がきちんと書いてあるので、非常に参考になると思います。

(宮本委員)

「開隆堂」を推薦したいと思います。アレルギー物質を含む食材を、分かりやすく表示する工夫がされているのは大変良いと思いました。アレルギーのある人は大変気にしていることですが、アレルギーのない子どもにとっても「こういったものには含まれる」ということを印象付けられるのではないかと思います。また、写真やイラストがとても多くて「この料理作ってみたい」や「浴衣を着てみたい」などがすごく誘われるような内容になっていると思いました。

(森田委員)

「開隆堂」も「東京書籍」も良い教科書と思ったのですが小学校から中学校への移行のところで、同じ「開隆堂」のほうが内容が続いている感じがあって興味を持ってできると思いました。

(寺本委員)

「開隆堂」を1位に推薦します。各社比べたページは消費生活についてのページです。結論から言うと「開隆堂」のページは強調する点、流す点をイラストの色や大きさに区別しています。「東京書籍」はイラストがありますが、全部同じトーンです。「開隆堂」の一番優れている点は「話し合ってみよう」や「やって

みよう」という項目が、消費生活をこれからやっていく生徒たちにとって、ものすごく面白いです。ですから、ここ一つだけとっても「開隆堂」のほうがとてもよいと感じました。

(中島教育長)

これまでの意見から、「開隆堂」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「開隆堂」、「技術・家庭 家庭分野 自立し、ともに支え合う生活へ」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《外国語（英語）》

選定委員会委員の結城小手指中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使用されている教科用図書は「開隆堂」である。はじめに、英語の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」の **New Horizon** の単元の構成については、各 **Unit** の扉で問いが示され、**Preview** で、学ぶ表現の場面を想起し、**Part** では重要な文法を学ぶ。**Read & Think** で、読む力や表現力を身につけ、**Unit Activity** で発信するという構成になっている。特徴としては、**Real Life English** では実生活に即した表現を学び、**Grammar for Communication** で文法の活用を図り、4技能を統合的に扱い、表現活動が充実している。

「開隆堂」の **Sunshine** の単元の構成については、とびらで目標の確認、**Scenes** で新しい表現を学習し、**Tuning in** で題材の予備知識を獲得し、本文で内容を理解し、**Review & Retell** で振り返りをし、**Action** で自己表現を図り、英語早わかりで文法のまとめをするという構成となっている。特徴としては、単元のまとめの **Power up** で実践的な技能習得を図り、**Our Project** で、プレゼンやポスター作りなど協働的な学びに取り組む。

「三省堂」の **NEW CROWN** の単元の構成については、**Scene** で短い英文を通

して、重要事項を学び、**Side Story** で会話表現のやり取りをして、**Small Talk Plus** で会話を継続するためのコツを学び、**Goal Activity** で読む活動を取り入れる構成となっている。特徴としては、デジタルコンテンツが充実し、題材の関係資料を動画で見ることができ、学習の広がりを実感することができる。

「教育出版」の **ONE WORLD** の単元の構成については、扉のページでゴールを確認し、各 **Part** で多様な英文に触れ、言語材料を習得させ、**Task** で **Goal** に沿った課題に取り組み、学習した言語材料は **Grammar** で確認する。特徴としては、学びを補強する多彩なアプローチが用意され長文読解力や日常会話表現力を高める。また、新出総単語数は最も多く扱われている。

「光村図書」の **Here We Go!** の単元の構成については、3年間のストーリーを通じて、各 **Unit** は、扉→**Part**→**Goal** という構成になっている。扉で目標や見通しを立てたのちに、各 **Part** で基本的な知識・技能を習得し、**Goal** で統合的な活動に取り組めるよう構成されている。特徴としては、**Active Grammar** で文法事項を確認し定着を図り、**ICT** を活用しようでは、学びの共有や学びの保存蓄積により、振り返りを推奨するページがある。

「啓林館」**BLUE SKY** の単元の構成については、初めに **Goal** が設定され、**Input** と **Output** に分けて示され、**Scene1,2,3** で、文法理解を深め、さらに、4技能5領域を伸ばす構成となっている。特徴としては、リアルな題材を扱い、本文の状況や内容を示すイラストや写真、図表等魅力的なものを取り入れて、活用しやすいよう、配置が工夫されている。

外国語における教科用図書は、最も適している者に「開隆堂」の「**Sunshine English Course**」、その次に適しているものとして「東京書籍」の「**New Horizon English Course**」の2者を推薦する。

「開隆堂」を選定した理由について3点ある。1点目、単元を通してストーリーが一貫し、何が身につくのか目標が明確で、興味関心を大事に、4技能5領域をスパイラルに学ぶことができる。2点目、表現力を育む工夫がされており、**Review** や **Retell** では、本文の内容を整理して、自己表現活動が充実している。3点目、2次元コードが充実しており、学習の補助、家庭学習のヒントにつながる動画が満載されている。

次に、「東京書籍」を選定した理由について3点ある。1点目、**Unit** の目標や

Preview により、題材の内容や新出表現の使用場面を想起しながら学習に取り組むことができる。2点目、Read&Think ではスピーチや伝記など、多様な英文を掲載し、興味関心を高め、概要把握、詳細理解、そして、表現力を高める構成になっている。3点目、本市では小学校でこの教科書が使用され、小中のスムーズな移行が行える。

終わりに、選定委員会における選定結果においては、開隆堂と東京書籍では推薦の度合いに差が見られた。

以下、質疑・意見。

(宮本委員)

英語の教科書において、小学校、中学校の出版社の連携等は内容的に選択の視野に入れるべきでしょうか。

(結城小手指中学校長)

「東京書籍」では、小中接続期といわれる中学1年生夏休みまでの単元を一つ削減して、基礎を丁寧に学ぶ工夫があります。また、小学校の単語で音と文字の関係を結ぶSounds and letterという項目も設定されています。「開隆堂」は場面を表すイラストや動画を見ながら、対話を聞く活動から新出表現を学ぶ構成になっています。外国語を母語とするAETが小中連携で入っています。AETの感想としては今小学校5年生が「東京書籍」、今小学校6年生は「開隆堂」を学んでいます、指導に大きな差はないと思われると回答しています。

(寺本委員)

New HorizonのPreviewのページはただ吹き出しがあるだけで、ここにあるQRコードを開かなければ何か分からないということですか。

(結城小手指中学校長)

そこで何を言っているのか問うということからスタートしているので、実際に授業の中で子どもたちは理解を深めていくという構成になっています。

(寺本委員)

つまり、欠席している子や、家で学習している子はこの動画は分かりにくいと考えていいですか。

(結城小手指中学校長)

補完する必要があるかと思います。

(森田委員)

中学生の英語になるとちょっと難しくなると思うのですが、英語が苦手な子に対しても苦手意識がなくなるような工夫が、この2者ではどのようにされていますか。

(結城小手指中学校長)

2者に関して接続期をともに大事にしています。なので、例えば小学校の躓きがあったとしても、中学校の入り口では丁寧にそこを振り返ることによって再スタートできるような工夫が両社ともされています。

(北野委員)

この2者が扱っているテーマがあります。「開隆堂」がゴミや環境問題について書いていますが、扱っているテーマについて2者にそれぞれどんな特徴がありますか。

(結城小手指中学校長)

例えばですが、世界の人々や日本の日常生活というところでは「東京書籍」に関してはニュージーランドの学校生活や、シンガポールでの日本と外国の食文化の違いがあります。また「開隆堂」のほうでは日本の食文化、世界の年末年始、フィンランドでの生活、世界の屋台、日本のお弁当文化を外国に、パラスポーツ等の扱いがあります。他にも、環境問題については「東京書籍」ではアラスカの環境問題、絶滅危惧種、エネルギー問題等を扱っています。「開隆堂」につきましては、先ほど北野委員がおっしゃっていた内容があります。

(北野委員)

先生方が英語を教えるにあたって、どちらの教科書が使いやすいですか。

(結城小手指中学校長)

前回、学習指導要領が令和2年の時点で変わりました。その時の採択の際に、「開隆堂」は大きく形式を変えてきました。ここでちょうど4年がたちまして、学校研究の感想の中に載っていてもいいとは思いますが、やっとならばここで中学校の英語の教員は教材研究を進めて現在の「開隆堂」の指導が定着してきているという思いもあって、学校研究はこのような結果につながっていると感じているところはございます。

(寺本委員)

現在のバージョンは、ダイアログの進行があります。あれは今までの教科書にはないものすごく新鮮な笑いが、各学年どのUnitにも含まれていました。今回はかなりおとなしくなっています。それは前のところで、ボケとツッコミのボケのほうのキャラ

クター設定について疑問視する向きの批判があったのでしょうか。現在の先生方は、あのシーンをうまく使っているのでしょうか。それとも避けているのでしょうか。

(結城小手指中学校長)

導入として非常に扱いやすいという声を聞いていますが、Unit内の他の部分から浮いている人物設定だったため、今回の改訂版ではそこを修正していると評価します。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「開隆堂出版」「東京書籍」の2者を協議の対象とします。

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見をお願いします。

(寺本委員)

「開隆堂」を継続して使っていただきたいと思います。各章の始まりが、「東京書籍」は多少補わなければ自宅学習できないという点がありますが、「開隆堂」は最初に日本語でこんな表現ができるというところがあり、2年生の75ページにも出てきます。その次を見るとSceneが出てきて、ここは前回ほどではないですが、少し笑える要素が入っています。また、ここでの文法的に重要な事項は赤字で入ってきて、会話の中身もすごく分かりやすいです。そういう点でもこれを積み重ねていけば英語を嫌いにならないで済むということもありますし、大会参加やコロナウイルスの罹患で欠席をしても自宅で補える内容になっていると思います。そういう点で私は「開隆堂」

を推薦します。現場の先生たちも「プログラムの初めに、この単元で何が身につくのが新しく載ったのが良かった。英文の内容も生徒が興味を持てるような工夫がある」と肯定的な評価が多いと思うので「開隆堂」でお願いします。

(北野委員)

寺本委員と同じで、先生方の意見を大事にしたいと思います。

(森田委員)

「開隆堂」を推薦したいと思います。小学校からの連携というところは問題ないとのことでしたのでこちらを薦めたいと思います。また、単元を通してキャラクターやストーリーが一貫しているところが惹かれるところなので、生徒が意欲的に学習に取り組めるように工夫されているところもいいと思いました。

(宮本委員)

「開隆堂」を推薦したいと思います。文法の説明のページ作りが丁寧でとても分かりやすいと思いました。

(中島教育長)

これまでの皆様の意見から、「開隆堂」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「開隆堂」、「Sunshine English Course」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめて議決いたします。

《特別の教科 道徳》

選定委員会委員の相川富岡中学校長より、以下のとおり報告があった。

現在使われている教科書は「日本文教出版」である。はじめに、特別の教科・道徳の教科書について、一覧の順に説明する。

「東京書籍」は、教材冒頭に内容項目は示さず「学習テーマと1コマ漫画」で学習の見通しを持たせている。また、教材文を一部省略し、「読む」時間より「話し合う」時間に多く授業時間が割けるよう工夫しているところに特徴がある。

「教育出版」は、教材冒頭に内容項目は示さず「問いかける一文」や「二次元コードからリンクする動画や資料」によって学習の見通しを持たせる。教材末に「3つの発問」を示し、「デジタルコンテンツ」を活用した話し合いの活動ができるよう工夫されている

「光村図書」は、教材冒頭に内容項目を示し、生徒が授業の方向性をとらえ学習の見通しが持てるようになっている。教材末に「3～4つの発問」を示し、授業の流れが明示されているところに特徴がある。

「日本文教出版」は、教材冒頭の「学びのキーワード」で学習の見通しを持たせる。さらに、「別冊道徳ノート」の巻末に振り返り用紙が付属しており、「学期ごと」に学んだことを振り返ることができるようになっている。

「Gakken」は、教材冒頭に内容項目を示さず「心を耕すことば」で教材への関心を高められるようになっている。教材末に「2つの発問」を示すほか、教材下段に「メモ欄」が設けられ、生徒が気づいた点などを書き留めることができるようになっている。

「あかつき教育図書」は、教材冒頭に内容項目を示さず、授業の導入や教師の範読により学習の見通しを持つことになる。教材末に「3つの発問」と「自己を見つめる活動」や「コラム等とのつながり」が明示されている。

「日本教科書」は、「内容項目順の教材配列」、「二次元コードによる教材の視覚化」「ウェルビーイングカード」に特徴がある。学習テーマ等の明示はないため、授業の導入や教師の範読により学習の見通しを持つことになる。

次に推薦する教科書とその選定理由を説明する。

特別の教科・道徳について、最も適しているのは、「日本文教出版」の「中学道徳 あすを生きる」、その次に適しているものとして、「東京書籍」の「新編新しい道徳」を推薦する。

「日本文教出版」は、「学びのキーワード」で学習の見通しを持たせ、問題解決型・役割演技といった学習形態について具体的に盛り込まれている。また、「別冊道徳ノート」が付属され、学びの足跡を残せるところに特徴があり、若い教員にとっても授業を進めやすい内容・構成となっている。併せて、現代的な課題である「いじめ」の問題等を取り上げる題材も充実しており、子どもたちが安心安全な中学校生活を送り、心の教育の充実を図っていくにはふさわしい教科書である。

る。選定委員の多くが推薦に賛成した。

「東京書籍」については、あえて内容項目は示さず「学習テーマと1コマ漫画」で学習の見通しを持たせ、教材末に「2つの発問」を設定し、「心情円盤等」を用いた学習ができるように工夫されている。「読む」時間よりも「話し合う」時間に多く授業時間が割けるような工夫をしている特徴も見られる。命の大切さ・命の尊さについても各学年で充実をさせているところが見られる。

これらの特徴はあるが、先に説明した「日本文教出版」に比べますと、推薦の度合いは高くない。

以下、質疑・意見。

(宮本委員)

「日本文教出版」と「東京書籍」において、対話や発表など他者の考えを知ることができる内容や問いかけを、意識的に取り扱っているのはどちらの教科書でしょうか。もしくは扱っている数が多いのはありますか。

(相川富岡中学校長)

ご質問に対する回答としてはどの教科書についても同じような扱いになっているので突出したという形にはなっていません。

(中島教育長)

他に質問はありますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、協議にうつります。推薦のあった2者については、協議の対象とすることよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

続いて、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したい場合には、その理由も併せて、推薦するようお願いいたします。それでは、意見のある方いらっしゃいますか。

《特になし》

(中島教育長)

それでは、確認をします。選定委員会推薦の「日本文教出版」「東京書籍」の2者を協議の対象とします。

(中島教育長)

それでは、現在協議の対象となっている2者の教科書について意見ををお願いします。

(北野委員)

「日本文教出版」は道徳ノートがついていて、非常にまとめるのに良いと思うのですが、授業をやっていくうえで、これはカバーできますか。時間的に十分ですか。

(相川富岡中学校長)

授業を進めるにおいて、道徳の授業ではノートがないので、どうしてもワークシートを教師が準備をしなければいけなくなります。そのうえで考えますと、道徳ノートがあることによって、授業が進めやすい状況にあるのではないかと考えます。

(寺本委員)

「日本文教出版」を1位にしたいと思います。「日本文教出版」は章立てで各学年ともいじめと向き合います。目次にこの教科書はいじめを毎年テーマにするということを明確に示しています。ですから、この教科書を使う学校の子どもたちはいじめについて考えるのを避けて通れない形になっています。ただ2本くらい話があるのではなく、2年生の28ページから44ページに「いじめと向き合う①」は奈良県の教材ですが、ミカとカナという女の子の2つの立場から、一つのことについて悩ましい点を出していて、おもしろい構成だと思います。そのあとにいじめをなくすために、いろいろな各学校でこんなことをやっているというのが出ていますし、大変手厚い構成だと思います。いじめ以外の各教材のまとめの間について、「考えてみよう」と「自分にプラスワン」が必ずついています。「自分にプラスワン」のほうが多少難しく、深く考える子はいっぱい書けます。「考えてみよう」のほうもここでどう思っただろうかというようなざっくりとしたものではなく、かなり焦点化されていて答えやすい質問になっています。ですから、先生も扱いやすいし、子どもたちもそれぞれの特性で考えて道徳ノートに書き込めますので、とてもやりやすいのではないかと思います。

(森田委員)

今の授業でいじめというのは問題になっていることだと思います。子供たちが安心、安全な中学校生活を送り、心の教育の充実を図っていくには、ふさわしい教科書ということで「日本文教出版」を推薦したいと思います。

(宮本委員)

「日本文教出版」を推薦したいと思います。道徳ノートが大変使いやすいのと、教科書の「プラスワン」や「考えてみよう」では、このようなことに対して考えてみようと書かれています。道徳ノートを開いてみると表題が書いてなく、「プラスワン」や「考えてみよう」というところで、授業やクラスの状況によっては違う問いかけのほうがいい場合があり、教科書どおりではないことを考えてもらいたいタイミングがあると思います。この空白になっていて、かつ、別冊で使いやすい付属ノートがついている「日本文教出版」を推薦したいと思います。

(北野委員)

「日本文教出版」のほうが授業はやりやすいのではないかと思います。

(中島教育長)

これまでの皆様の意見から、「日本文教出版」の教科書を候補とすることにしてよろしいでしょうか。

《異議なし》

(中島教育長)

それでは、協議の結果、「日本文教出版」、「中学道徳 明日を生きる」が候補となりました。

なお、採択につきましては、このあと、全ての種目の候補が決まりましたので、まとめて議決いたします。

(中島教育長)

以上で16種目全ての審議が終わりました。審議の結果、令和7年度使用中学校用教科用図書については、次の教科用図書を原案といたします。

国語	「光村図書出版」	「国語」
書写	「光村図書出版」	「中学書写」
社会（地理的分野）	「東京書籍」	「新編 新しい社会 地理」
社会（歴史的分野）	「東京書籍」	「新編 新しい社会 歴史」
社会（公民的分野）	「東京書籍」	「新編 新しい社会 公民」
地図	「帝国書院」	「中学校社会科地図」
数学	「啓林館」	「未来へひろがる数学」

理科	「東京書籍」	「新編 新しい科学」
音楽（一般）	「教育芸術社」	「中学生の音楽」
音楽（器楽合奏）	「教育芸術社」	「中学生の器楽」
美術	「日本文教出版」	「美術」
保健体育	「東京書籍」	「新編 新しい保健体育」
技術・家庭（技術分野）	「開隆堂出版」	「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」
技術・家庭（家庭分野）	「開隆堂出版」	「技術・家庭 家庭分野 自立し、ともに支え合う生活へ」
外国語（英語）	「開隆堂出版」	「Sunshine English Course」
特別の教科 道徳	「日本文教出版」	「中学道徳 あすを生きる」

※令和7年度使用中学校用教科用図書について、中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり採択された。

※義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条に基づき、来年度に本年度のものの継続使用が決まっている小学校用教科用図書について、中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

（中島教育長）

これをもちまして、本議案についての審議を終了します。

《休憩 午後3時27分～午後3時40分》

《傍聴者 退室》

●議案第12号 令和6年度教育委員会予算(9月補正)について【非公開】

《削除》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

●議案第13号 予定価格2,000万円以上の動産の買入れについて【非公開】

《削除》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

## 10 その他

○非公開案件にかかる審議の議事録の掲載について

○「所沢市学校給食センター再整備事業契約締結についての一部変更について」  
の回答

○保健所の進捗について

(千葉教育総務部長)

8月1日に生涯学習推進センターのグラウンドを利用している利用団体に対して、説明会が行われます。学校への説明、保護者への説明につきましては、夏休みに入る前に並木小学校と中央中学校の保護者向けに通知を出した旨の報告を受けています。

○今後の日程

- ・教育委員会会議8月定例会：8月20日（火）7階研修室
- ・教育委員会会議9月定例会：9月27日（金）

※市議会の日程により変更の可能性あり

11 閉 会 午後4時50分